

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

一般病床(重症心身障害)100床、精神病床183床を有する。
地域医療構想の対象となる一般病床は、国立病院機構が担うセイフティーネットとして、医療を必要とする重症心身障害児(者)に入院医療を提供している。
今後も、この役割、機能に変更はない。

具体的対応方針

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割、機能ができるかぎり明らかになるようご説明ください。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について
※複数病院間の連携協定など具体的な取組(予定も含む)があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかになるようにご説明ください。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

独立行政法人国立病院機構 やまと精神医療センター病院 地域医療構想における

令和3年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について
※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

	<H28年度>		<R8年度>		(b) 将来		(b-a) H28年度からの増減
	(a) 許可病床数	最大使用病床数	許可病床数	最大使用病床数	(R7/2025年度)	H28年度からの増減	
一般病床	高度急性期						0
	急性期						0
	重症						0
	軽症						0
療養病床	回復期				100	100	0
	慢性期	100	100	100			0
	休養中 (今後再開する予定)						0
	休養中 (今後廃止する予定)						0
	(合計)	100	100	100	102	100	0
	精神病床	183	183	183	183	183	0
介護医療院						0	

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数

・1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~③の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。
※行が足りない場合は添削、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

当該領域について対応しているか？	はい	いいえ
手術の実施	肺、呼吸器、消化器、乳腺	泌尿器、生殖器
化学療法の実施	対応している	対応していない
放射線治療の実施	対応している	対応していない
拠点病院等の指定	がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院	

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

当該領域について対応しているか？	はい	いいえ
緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施	対応している	対応していない
心疾患に対する外科手術の実施	対応している	対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

③ 脳卒中

当該領域について対応しているか？	はい	いいえ
脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施	対応している	対応していない
脳動脈クリッピング術	対応している	対応していない
閉頭血腫除去術	対応している	対応していない
脳出血（くも膜下出血を含む）への対応	対応している	対応していない
血栓除去術等の脳血管内手術	対応している	対応していない
脳血管疾患等への早期リハビリの実施	対応している	対応していない
奈良県脳卒中地域連携パスへの参加	参加している	参加していない

④ 救急医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・救急告示病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・大腿骨折への対応 対応している 対応していない
- ・病院群輪番制への参加 参加している 参加していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

時間体制で県民の人権に配慮した適切な医療の提供及び保護を図るため構築された精神科救急医療システムに参加し、輪番制で緊急の外来や、診療の結果入院が必要となった患者に対応する一次（初期）救急及び二次救急医療施設としての役割を担っている。

⑤ リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・脳卒中等循環器病への早期リハビリ 対応している 対応していない
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り（病床数＝床） 無し
- ・訪問リハビリの実施 対応している 対応していない
- ・通所リハビリの実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑥ 在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・在宅療養支援病院の届出の有無 有り 無し
- ・在宅療養後方支援病院の届出の有無 有り 無し
- ・訪問リハビリの実施（再掲） 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑦ 訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・同一法人内に訪問看護ステーションをもってしているか？ はい いいえ

（はいの場合 施設名称：独）国立病院機構コアラ訪問看護ステーション

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑧ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？ 定めている 定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑨へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定 していない している
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 していない している
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲） 参加していない 参加している

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・分娩の取扱い 対応している していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

従前どおり災害派遣精神医療チーム（DPAT）を編成するため、平素から精神科医療の中核的機関としての役割を担っている当院、奈良県立医科大学附属病院、県精神科病院協会等の関係機関との連携体制を確立する

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

新専門医研修制度において精神科専門医研修基幹施設として指定され、当院を含む精神科病院3施設及び総合病院2施設が連携の下、専門医取得の研修を行っている。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？） はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
- ・平時から自病院用で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

- ① 高齢者を対象とした適切な医療を提供する。(一般病床)
- ② 在宅施設としての適切な医療・介護を提供し終末期の利用者への ACP の取り組みを強化していき、生活施設としての役割を担っていく。(介護医療院)

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり明らかにできるようご説明ください。

急性期機能 (脳疾患、心疾患、外科、整形外科等) は他病院にお願いする。

(3) (2) を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組 (予定も含む) があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにできるようにご説明ください。

医療・介護相談室を中心に他病院との情報交換を密にし、在宅で難しい患者の受入れを担う病院として取り組んで行く。

令和3年11月作成

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複製致しなくても結構です。

奈良厚生会病院

地域医療構想における 具体的対応方針

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について
 ※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
 ※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

	<H28年度>		<R3年度>	
	(a)許可病床数	最大使用病床数	(b)将来 (R7/2025年度)	(b-a) H28年度からの増減
一般病床				0
療養病床				0
高度急性期				0
急性期				0
回復期				0
慢性期	298	60	49	-249
休養中 (今後再開する予定)				0
休養中 (今後廃止する予定)				0
(合計)	298	60	49	-249
精神病床				0
介護医療院		238	238	238

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数
 ・1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床の数です。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~③の領域の今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。
 ※選抜肢については、あてはまるものに○をつけてください。
 ※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数行になっても結構です。

① がん

当該領域について対応しているか?	はい	いいえ
手術の実施	肺、呼吸器	消化器
化学療法の実施	乳腺	泌尿器、生殖器
放射線治療の実施	対応している	対応していない
拠点病院等の指定	対応している	対応していない
今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。	がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院	

② 心筋梗塞等の心血管疾患

当該領域について対応しているか?	はい	いいえ
緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施	対応している	対応していない
心疾患に対する外科手術の実施	対応している	対応していない
今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。	対応している	

③ 脳卒中

当該領域について対応しているか?	はい	いいえ
脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施	対応している	対応していない
脳動脈クリッピング術	対応している	対応していない
開頭血腫除去術	対応している	対応していない
脳出血 (くも膜下出血を含む) への対応	対応している	対応していない
血栓除去術等の脳血管内手術	対応している	対応していない
脳血管疾患等への早期リハビリの実施	対応している	対応していない
奈良県脳卒中地域連携パスへの参加	参加している	参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

④ 救急医療

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 救急告示病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- 大腿骨骨折への対応 対応している 対応していない
- 病院群輪番制への参加 参加している 参加していない
- 小児科病院二次輪番体制への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑤ リハビリ

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 脳卒中等循環器病への早期リハビリ 対応している 対応していない
- 回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り（病床数=床） （無し）
- 訪問リハビリの実施 対応している 対応していない
- 通所リハビリの実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑥ 在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 在宅療養支援病院の届出の有無 有り 無し
- 在宅療養後方支援病院の届出の有無 有り 無し
- 訪問リハビリの実施（再掲） 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑦ 訪問看護

- 病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ

（はいの場合、施設名称：）

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑧ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- 厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？ 定めている 定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑧小児医療

- ・当該領域について対応しているか? はい いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定 している していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加(再掲) 参加している 参加していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。

⑨周産期医療

- ・当該領域について対応しているか? はい いいえ
- ・分娩の取扱 対応している 対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。

⑩災害医療

- ・当該領域について対応しているか? はい いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか? はい いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか? はい いいえ
- ・EMIS(広域災害救急医療情報システム)への参加 参加している 参加していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。

⑪へき地医療

- ・当該領域について対応しているか? はい いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか? はい いいえ

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。

⑫医師の研修・派遣機能(臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能)

- ・当該領域について対応しているか? はい いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか? はい いいえ

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。

⑬新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか? はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか?(重点医療機関か?) はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか? はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか? はい いいえ
- ・平時から自院用で感染防護具等の備蓄をしているか? はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか? はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか? はい いいえ

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について当機構の役割である地域医療の要として、消化器内科・消化器外科を中心に循環器内科・内科・整形外科・泌尿器科等の診療体制の充実。
市内で唯一入院施設まで整った産婦人科として、分娩や産前・産後ケアに積極的に取り組む。

外来・入院・在宅訪問を含む小児科診療に積極的に取り組む。

救急医療に対応する「断らない病院」、地域包括ケアを支える「面倒見のいい病院」の双方を担っているが、患者動向を検証して近隣病院との役割分担を明確にして、医師の働き方改革も見据えて救急医療の縮小を視野に検討。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるときは明らかなようにご説明ください。

西和医療圏を中心とした、病診・病病連携による患者の受入れ及び在宅復帰支援を踏まえた連携機能の充実。また、高度急性期医療機関の後方支援病院としての役割を担う、連携機能の強化を検討
近隣には救急医療を担う民間病院が存在しており、診療機能分担を踏まえ将来の当院のあり方の検討。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるだけ明らかなようにご説明ください。

地域医療連携部を中心に関係機関との情報交換や着看連携にも取り組み、地域包括ケア病棟への紹介患者の受入れ増及び在宅復帰支援に向けて努力している。

独立行政法人地域医療機能推進機構

大和郡山病院 地域医療構想における

具体的対応方針

令和3年11月作成

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について
※様式1を踏まえ具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1→2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
※R3年度、R7年度(2025年度)の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

	<H28年度>		<R3年度>		最大使用病床数
	(a)許可病床数	8	許可病床数	4	
一般病床	高度急性期			4	4
	急性期	144	179		159
療養病床	軽症	83			
	回復期		40		40
病床	慢性期				
	休養中 (今後再開する予定)				
	休養中 (今後廃止する予定)				
	(合計)	235	223		203
精神病床					
介護医療院					

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数
・1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~③の領域の今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。

※行が足りない場合は添紙、行を却やしてください。複数故になっても結構です。

① がん

- 当該領域について対応しているか?
 - 手術の実施 肺、呼吸器 はい いいえ
 - 化学療法の実施 はい いいえ
 - 放射線治療の実施 はい いいえ
 - 拠点病院等の指定 はい いいえ

がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院
今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

- 当該領域について対応しているか?
 - 緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 はい いいえ
 - 心疾患に対する外科手術の実施 はい いいえ

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

③ 脳卒中

- 当該領域について対応しているか?
 - 脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 はい いいえ
 - 脳動脈クリッピング術 はい いいえ
 - 開頭血腫除去術 はい いいえ
 - 脳出血(くも膜下出血を含む)への対応 はい いいえ
 - 血栓除去術等の脳血管内手術 はい いいえ
 - 脳血管疾患等への早期リハビリの実施 はい いいえ
 - 奈良県脳卒中地域連携バスへの参加 はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携、機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

④ 救急医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・救急告示病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・大腿骨折への対応 対応している 対応していない
- ・病院群輪番制への参加 参加している 参加していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携、機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑤ リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・脳卒中等循環器病への早期リハビリ 対応している 対応していない
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り（病床数＝床） 無し
- ・訪問リハビリの実施 対応している 対応していない
- ・通所リハビリの実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携、機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑥ 在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・在宅療養支援病院の届出の有無 有り 無し
- ・在宅療養後方支援病院の届出の有無 有り 無し
- ・訪問リハビリの実施（再掲） 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携、機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑦ 訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 - ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ
- （はいの場合 施設名称：大和郡山病院訪問看護ステーション）

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携、機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑧ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？ 定めている 定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携、機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定 している していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲） 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・分娩の取扱 対応している 対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑬医師の研究・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？） はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
- ・平時から自病院内で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

A 救急患者の受入

- ・ 面見のよい病院を目指し、在宅、介護施設、地域住民に対し医療を提供すること。また病診連携を密にし、切れ目のない医療を提供に努める。
- ・ 救急医療において、一次救急、二次救急の対応を行う。提供体制が不足する土曜、日、日曜日においては内科系、外科系の二科体制を確保する。救急隊からの依頼についても可能な限り対応し、高度急性期の医療を必要とした場合、提供可能な医療機関と病病連携を行い対応していく。

B 透析医療の提供

- ・ 平成 19 年より大和郡山市内の患者を中心とし透析医療を提供している。引き続きその役割を果たしていく。

C 回復期機能の提供

- ・ 回復期病棟にて、脳卒中、整形疾患を中心に在宅復帰を目指し手厚いリハビリテーションを提供する。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり明らかにできるようご説明ください。

- ・ 二次を中心とした救急医療、整形外科全般、一般内科、リハビリ機能については受入体制を確保しているのので担っていききたい。
- ・ 医師確保が困難である為、外科（消化器、呼吸器、心臓 等）については市内及び市外の医療機関と連携し対応していく。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※救急病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにできるようにご説明ください。

※行が足りない場合は連時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

田北病院

地域医療構想における 具体的対応方針

令和 3 年 1 1 月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について
※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

一般病床 療養病床	＜H28年度＞ (a) 許可病床数		＜R3年度＞ 許可病床数		最大使用病床数	
	重症	軽症	重症	軽症	H28年度からの増減	(b) 将来 (R7/2025年度)
高度急性期	46	46	46	46	0	0
急性期	46	46	46	46	0	0
回復期	118	118	118	118	0	0
慢性期					0	0
休養中 (今後再開する予定)					0	0
休養中 (今後廃止する予定)					0	0
(合計)	210	210	210	210	0	0
精神病床						
介護医療院						

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数
1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~③の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。
※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

当該領域について対応しているか？	はい	いいえ
手術の実施	○	
化学療法の実施	○	
放射線治療の実施	○	
拠点病院等の指定	○	

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
手術については内視鏡下によるものに限る実施

② 心筋梗塞等の心血管疾患

当該領域について対応しているか？	はい	いいえ
緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施	○	
心疾患に対する外科手術の実施	○	

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
外科的手術については近隣対応医療機関と連携し対応している。

③ 脳卒中

当該領域について対応しているか？	はい	いいえ
脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施	○	
脳動脈クリッピング術	○	
開頭血腫除去術	○	
脳出血（くも膜下出血を含む）への対応	○	
血栓除去術等の脳血管内手術	○	
脳血管疾患等への早期リハビリの実施	○	
奈良県脳卒中地域連携パスへの参加	○	

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

- ・回復期リハビリテーション病棟を有しており、引き続き可能な範囲で対応していく予定（医師の増員も計画しております）。

④ 救急医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・救急告示病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・大腸骨骨折への対応 対応している 対応していない
- ・病院群輪番制への参加 参加している 参加していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

- ・引き続き地域の救急医療には注力したい。土曜、日曜、祝日については9割以上二科体制を維持し対応している。現在は応需率の改善を課題として取り組んでいる。

⑤ リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・脳卒中等循環器病への早期リハビリ 対応している 対応していない
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り(病床数=88床) 無し
- ・訪問リハビリの実施 対応している 対応していない
- ・通所リハビリの実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

- ・現在回復期リハビリテーション病棟を2棟（各44床）有している。整形外科、脳神経外科、内科を中心に今後もリハビリを提供していきたい。
- ・通所リハビリについては、併設の介護老人保健施設にて実施している。

⑥ 在宅医療

- ※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。
- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 - ・在宅療養支援病院の届出の有無 有り 無し
 - ・在宅療養後方支援病院の届出の有無 有り 無し
 - ・訪問リハビリの実施（再掲） 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

- ・一部往診を実施しているが積極的には実施していない。訪問リハビリについてはこれまで通り提供していきたい。

⑦ 訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 - ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ
- （はいの場合 施設名称：訪問看護ステーション なのはな）

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑧ A.C.P（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？ 定めている 定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑩小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定 している していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲） 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・分娩の取扱い 対応している 対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑩災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑩医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑩新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？） はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似患者を受け入れているか？ はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
- ・平時から自病院内で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

・昨年は院内にて陽性患者が発生し奈良県また近隣医療機関様にはご心配とご迷惑をお掛けしました。感染拡大時には更なる増床ができるよう内科系医師の増員に努めております。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

当院はケアミックス病院として、救急患者の受け入れから看取りに至るまで、患者の状態・状況にあった医療サービスを提供している。特に急性期医療では二次救急医療機関として脳卒中や外傷等に対し24時間365日の受け入れだけでなく、三次救急医療機関が受け入れをした患者の後方受け入れ病院としての連携も積極的に行っている。今後も引き続きその役割を果たすこととする。また、回復期・慢性期医療に対しても、地域包括ケア病棟、医療療養病棟を有しており、在宅医療における急性増悪時の救急搬送にも対応している。

その他、同法人グループの介護老人保健施設「ピュアネス藍」、介護付有料老人ホーム「青藍の郷」だけでなく、各医療機関、介護施設との連携を強化し、切れ目のない地域包括ケアシステムの構築に寄与していくこととする。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり明らかなるようご説明ください。

周産期医療、小児医療については当院での対応が困難なため、各医療機関との連携を強化することとする。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組(予定も含む)があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかなるようにご説明ください。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数行になっても結構です。

医療法人青心会
郡山青藍病院
地域医療構想における
具体的対応方針

令和3年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について
※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

	<H28年度>		<R3年度>		<R7/2025年度>	
	(a)許可病床数	許可病床数	許可病床数	許可病床数	(b)将来	(b-a)
高度急性期	重症	60	60	60	60	0
	軽症	40	40	40	40	0
	回復期					
	慢性期	40	40	40	40	0
療養病床	休養中 (今後再開する予定)					
	休養中 (今後廃止する予定)					
(合計)	140	140	140	140	140	0
精神病床						
介護医療院						

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。
(注1) 最大使用病床数
1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~③の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。
※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

当該領域について対応しているか？	はい	いいえ
手術の実施	肺、呼吸器	乳腺、消化器、泌尿器、生殖器
化学療法の実施	対応している	対応していない
放射線治療の実施	対応している	対応していない
拠点病院等の指定	がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院	

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

当該領域について対応しているか？	はい	いいえ
緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施	対応している	対応していない
心疾患に対する外科手術の実施	対応している	対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

24時間365日ではないが緊急心臓カテーテル検査の実施を行う。

③ 脳卒中

当該領域について対応しているか？	はい	いいえ
脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施	対応している	対応していない
脳動脈クリッピング術	対応している	対応していない
開頭血腫除去術	対応している	対応していない
脳出血（くも膜下出血を含む）への対応	対応している	対応していない
血栓除去術等の脳血管内手術	対応している	対応していない
脳血管疾患等への早期リハビリの実施	対応している	対応していない
奈良県脳卒中地域連携パスへの参加	参加している	参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

④ 救急医療

- ・当該領域について対応しているか？
- ・救急告示病院の指定を受けているか？
- ・大腿骨骨折への対応
- ・病院群輪番制への参加
- ・小児科病院二次輪番体制への参加

はい
はい
対応している
参加している
参加している
参加していない
参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑤ リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？
- ・脳卒中等循環器病への早期リハビリ
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無
- ・訪問リハビリの実施
- ・通所リハビリの実施

はい
対応している
有り（病床数＝
対応している
対応している
対応していない
対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑥ 在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- ・当該領域について対応しているか？
- ・在宅療養支援病院の届出の有無
- ・在宅療養後方支援病院の届出の有無
- ・訪問リハビリの実施（再掲）

はい
有り
有り
対応している
いいえ
無し
無し
対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑦ 訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？
 - ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？
- （はいの場合 施設名称：）

はい
はい
いいえ
いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑧ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？

定めている
定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・小児入院医療管理料の算定 していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 していない
- ・小児科病院二次給番体制への参加(再掲) 参加している

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・分娩の取扱い 対応している
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 していない

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい
- ・EMIS (広域災害救急医療情報システム) への参加 参加している

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。

⑬医師の研修・派遣機能 (臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能)

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？ (重点医療機関か) はい
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ はい
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい
- ・平時から自院で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について患者/家族の生活再建及び在宅での医療を目的とし、地域の急性期病院/クリニック/介護施設等と連携したアプローチを行い地域に根付いた医療及び介護を提供する。また、病床を有する医療機関として、他病院及びクリニック/介護施設等からの迅速な患者の受け入れを行います

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において自院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり明らかにできるようご説明ください。
病床の変更等は、現状予定にはなく今後も慢性期を中心とした医療/介護を行う。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにするようにご説明ください。

現在、具体的な取組等は行っていない。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

藤村病院 地域医療構想における 具体的対応方針

令和3年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について
※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください。

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

	<H28年度>		<R3年度>		<R7年度>		
	(a)許可病床数	許可病床数	許可病床数	許可病床数	(b)将来 (R7/2025年度)	(b-a) H28年度からの増減	
一般病床	高度急性期					0	
	急性期	重症					0
		軽症					0
	回復期					0	
	慢性期	45	45	45	45	0	
	休養中 (今後再開する予定)					0	
療養病床	休養中 (今後廃止する予定)					0	
	(合計)	45	45	45	45	0	
精神病床						0	
介護医療院						0	

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数
・1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~③の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。
※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。
※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

当該領域について対応しているか？

手術の実施	肺、呼吸器	消化器	はい	いいえ
化学療法の実施				
放射線治療の実施				
拠点病院等の指定	がん診療連携拠点病院・がん診療連携拠点病院ががん診療連携拠点病院			

乳腺 対応している
泌尿器、生殖器 対応していない
内分泌 対応している
消化器 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

当該領域について対応しているか？

緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施	はい	いいえ
心疾患に対する外科手術の実施	対応している	対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

③ 脳卒中

当該領域について対応しているか？

脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施	はい	いいえ
脳動脈クリッピング術	対応している	対応していない
開頭血腫除去術	対応している	対応していない
脳出血（くも膜下出血を含む）への対応	対応している	対応していない
血栓除去術等の脳血管内手術	対応している	対応していない
脳血管疾患等への早期リハビリの実施	対応している	対応していない

・奈良県脳卒中地域連携バスへの参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携、機能回復等）について記入してください。

④ 救急医療

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 救急告示病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- 大腿骨折への対応 対応している 対応していない
- 病院群輪番制への参加 参加している 参加していない
- 小児科病院二次輪番体制への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携、機能回復等）について記入してください。

⑤ リハビリ

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 脳卒中等循環器病への早期リハビリ 対応している 対応していない
- 回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り（病床数＝床） 無し
- 訪問リハビリの実施 対応している 対応していない
- 通所リハビリの実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携、機能回復等）について記入してください。

通所リハビリ及び訪問リハビリを今後も介護連携し行っていく。

⑥ 在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 在宅療養支援病院の届出の有無 有り 無し
- 在宅療養後方支援病院の届出の有無 有り 無し
- 訪問リハビリの実施（再掲） 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携、機能回復等）について記入してください。

今後も現状同様、医療と介護の両面から支援していく。

⑦ 訪問看護

- 病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ

（はいの場合 施設名称：はれやか）

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携、機能回復等）について記入してください。

今後も現状同様、在宅医療と介護の両面から支援していく。

⑧ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- 厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？ 定めている 定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携、機能回復等）について記入してください。

現状と変わらず患者家族等関係者との密な連携を行っていく。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定 している していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲） 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・分娩の取扱い 対応している 対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？） はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
- ・平時から自病院内で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

平時共に、変更なく対応を行う。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について高度急性期医療の提供を行います。救急搬送等を断らない病院として対応していきます。

地域がん診療連携拠点病院、がんゲノム医療連携病院として、がん患者様に高度な集学的治療を行います。また多職種にて構成されるチーム等により各患者様のニーズに沿った適切な医療を提供していきます。

地域災害拠点病院として災害発生時に適切な医療を提供できるよう、整備していきます。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において自院が担わない又はは小さく保つ・機能ができなくなるかぎり明らかになるようご説明ください。

当院は高度急性期医療の提供を地域の役割として担いたいと考えています。

回復期、慢性期等については、近隣病院と連携して、切れ目のない適切な医療を患者様が受けて頂けるようにする必要があります。そのためには医師同士、地域連携担当者同士等が顔の見える関係となり、密度が高い連携体制の構築が必要であると考えます。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにするようにご説明ください。

前方連携では、緊急受診が必要な紹介患者様がスムーズに受診して頂けるよう、体制構築を行っています。

後方連携は、退院支援看護師、社会福祉士等がさまざまな医療資源を活用しながら、患者様にとって最適な病院・施設に転院、在宅移行等できるよう調整を行います。

またICTを利用して、地域医療機関、薬局、介護施設、訪問看護ステーション等とネットワークを構築し、患者様の情報を共有することでスムーズな診療連携につながるよう取り組んでいます。

※行が足りない場合は適時、行を挿やしてください。複数枚になっても結構です。

近畿大学奈良病院 地域医療構想における 具体的対応方針

令和3年11月作成

- (2) 領域ごとの医療機能の方向性について
- ※以下①~③の領域の今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。
 - ※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。
 - ※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

当該領域について対応しているか? はい いいえ

手術の実施 実施している 実施していない

化学療法の実施 実施している 実施していない

放射線治療の実施 実施している 実施していない

拠点病院等の指定 がん診療連携拠点病院 地域がん診療病院、奈良県地域がん診療連携支援病院

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。

- 高度専門医療、チーム医療、地域連携の推進。
- 5ヶ年計画に従って診療体制をさらに充実させる。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

当該領域について対応しているか? はい いいえ

- 緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 対応している 対応していない
- 心疾患に対する外科手術の実施 対応している 対応していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。

- 人員を補充して充実を図る方針です。

③ 脳卒中

当該領域について対応しているか? はい いいえ

- 脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 実施している 実施していない
- 脳動脈クリッピング術 実施している 実施していない
- 開頭血腫除去術 実施している 実施していない
- 脳出血(くも膜下出血を含む)への対応 実施している 実施していない
- 血栓除去術等の脳血管内手術 実施している 実施していない
- 脳血管疾患等への早期リハビリの実施 実施している 実施していない
- 奈良県脳卒中地域連携パスへの参加 参加している 参加していない

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について
- ※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。

※R3年度、R7年度(2025年度)の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

一般病床	<H28年度> (a) 許可病床数		<R3年度> 許可病床数		(b) 将来 (R7/2025年度)	(b-a) H28年度から50年後
	高度急性期	重症	518	421	518	0
急性期	重症	0	0	0	0	0
	軽症	0	0	0	0	0
回復期		0	0	0	0	0
慢性期		0	0	0	0	0
休養中 (今後再開する予定)		0	97	0	0	0
休養中 (今後廃止する予定)		0	0	0	0	0
(合計)		518	518	414	518	0
精神病床		0	0	0	0	0
介護医療院		0	0	0	0	0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数

・1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

- ・地域連携強化を行い、診療を充実させる予定です。

④ 救急医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・救急告示病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・大腿骨骨折への対応 対応している 対応していない
- ・病院群輪番制への参加 参加している 参加していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

- ・救急を全応需できるように目標を設定している。

⑤ リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・脳卒中等循環器病への早期リハビリ 対応している 対応していない
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り（病床数=） 無し
- ・訪問リハビリの実施 対応している 対応していない
- ・通所リハビリの実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

- ・急性期病院として必要なリハビリを充実させる。

⑥ 在宅医療

- ※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。
- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 - ・在宅療養支援病院の届出の有無 有り 無し
 - ・在宅療養後方支援病院の届出の有無 有り 無し
 - ・訪問リハビリの実施（再掲） 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

- ・在宅医療の指導・管理を行っているが訪問等が行っていない。

⑦ 訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 - ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ
- （はいの場合 施設名称：）

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

- ・行う予定はない。

⑧ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？ 定めている 定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

- ・今後取り組み予定です。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 - ・小児入院医療管理料の算定 している していない
 - ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している していない
 - ・小児科病院二次編成体制への参加(再掲) 参加している 参加していない
- 今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。
- ・思春期の発達、アレルギ一、心身症等を拡充する予定。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 - ・分娩の取扱 対応している 対応していない
 - ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない
- 今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。
- ・継続して対応します。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 - ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- 今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。
- ・対応しておらず、変更ありません。

⑬医師の研修・派遣機能 (臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能)

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 - ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- 今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。
- ・引き続き基幹型臨床研修病院の指定を受けられるよう指定基準を満たすと同時に内容の充実を図ります。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
 - ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？ (重点医療機関か？) はい いいえ
 - ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ はい いいえ
 - ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
 - ・平時から自病院用で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
 - ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ
 - ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ
- 今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。
- ・引き続き継続します。

⑮災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 - ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ
 - ・DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい いいえ
 - ・EMIS (広域災害救急医療情報システム) への参加 参加している 参加していない
- 今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。
- ・西和医療圏で唯一の災害拠点病院として自覚をもち、災害対策を日々更新しているところですが、今後もより充実させていく方針です。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

医療法人和幸会グループには、精神科および医療療養型の機能を有する阪奈サナトリウム（四條畷市）、介護老人保健施設パークヒルズ田原苑（四條畷市）、運動療法施設 MediTAS Zelfit（病院併設）、サービス付き高齢者向け住宅さくら苑等があり、多彩な医療・福祉サービスを地域住民に提供できる体制が整っております。

また、付属施設として在宅事業部（訪問看護、訪問リハビリ、訪問介護、居宅介護支援、地域包括支援センター）を充実させることにより、地域の医療機関及び福祉施設との連携を密にし、地域に密着した患者さまのニーズに合わせた医療・福祉サービスを提供しております。

関連法人として、看護学校2校・リハビリテーション学校2校の他に幼稚園・保育所を運営する学校法人栗岡学園があります。当院では、将来の医療人育成のため、実習生受入等のサポート体制を充実させ、人材の育成・確保にも努めております。

そして、当院隣接の上記保育所では、お子様がいても安心して学業・仕事に励むことができる環境を整えております。

当院の院内には、奈良県立医科大学スポーツ医学研究センターが設置され、大学との連携の充実、当院と関連学校へのロボティクスの導入など、最新の医療知識と技術を積極的に導入しています。

これからも、医療機関と教育機関を有する強みを活かし、医療・福祉・教育の各施設が一体となり地域医療の充実に引き続き貢献していく予定です。

地域連携の強化・人材の育成・診療機能の強化など、地域のニーズに応えられよう、救急や小児科、脳卒中診療を充実させ、重症急性期から回復期、在宅医療に至るまで、「面倒見のいい病院」と「断らない病院」としての機能を併せ持ちながら、地域の関係機関との連携を重視し、地域での役割を果たしていきたいと考えております。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割、機能ができず明らかになるようご説明ください。

重症急性期から軽症急性期の受け入れも可能であり、さらに回復期機能として回復期リハビリテーション病棟および地域包括ケア病棟を有しています。

高度急性期機能を持つ近畿大学奈良病院や奈良県総合医療センター等との連携を緊密にし、サブアキュート、ポストアキュートの患者様も積極的に受け入れたいと考えています。

阪奈中央病院 地域医療構想における 具体的対応方針

令和3年11月作成

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について
 ※複数病院間の連携協定など具体的な取組(予定も含む)があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにするようにご説明ください。

地域の医療、福祉、介護関係者と地域医療の充実を図るため、下記の様な地域医療連携機能の強化に取り組んでいます。

1. 地域医療連携室のスタッフの強化と入院支援加算(1)の届出により、他の医療機関との情報交換と連携を深め、病棟連携・病診連携・在宅復帰への支援の充実に取り組むとともに、関係者の方に当院の特徴を理解して頂くために、広報紙の配布等も行っております。
2. 地域住民向けの出前講座・健康教室の開催、開業医の先生向けの「阪奈フォーラム」の開催など、当院との意見交換の場を設けることにより、地域の傾向を把握し、僅かずつではあるが地域の実情に合った医療体制を構築するよう努めております。
3. 奈良県総合医療センターのICTを用いた救急ネットワークに参加し、同院にて救急患者受け入れ後に、入院が必要な軽症急性期の患者さんの受け入れも行ってまいります。
4. 地域の数多くの介護や福祉施設の協力病院となり、状態の悪くなった利用者の受け入れをし、地域福祉の充実にも関わっております。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について
 ※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
 ※R3年度、R7年度(2025年度)の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

一般病床・療養病床	<H28年度>		<R3年度>		(b)将来 (R7/2025年度) H28年度からの増減
	(a)許可病床数	最大使用病床数	許可病床数	最大使用病床数	
高度急性期					
急性期					
重症	45	88	88	67	75
軽症	120	77	77	64	35
回復期	45	90	90	82	90
慢性期	45				
休養中 (今後再開する予定)					
休養中 (今後廃止する予定)					
(合計)	255	255	255	213	200
精神病床					
介護医療院					

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数

・1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①～④の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。
 ※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。
 ※行が足りない場合は通時、行を増やしてください。複製枚になっても結構です。

① がん

当該領域について対応しているか？
 手術の実施 肺、呼吸器 消化器 泌尿器、生殖器 対応している 対応していない
 化学療法の実施 対応している 対応していない
 放射線治療の実施 対応している 対応していない
 拠点病院等の指定 がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院
 ・胃がん、大腸がんについては消化器内科医と消化器外科医の連携により治療方針を決定し、リンパ節転移の可能性がない場合は内視鏡による切除が可能。進行度によりリンパ節転移の可能性がある場合は、それぞれの癌治療ガイドラインに従い可能な限り腹腔鏡手術による精度の高い治療を行います。
 ・進行がんのため手術前後に抗がん剤治療が必要な場合は、入院または外来通院により化学療法を行うことが可能です。また昨今は高齢者のがん疾患が増加しており、大きな手術を受けられた場合には体力の低下を来すことが多くあるため、当院のリハビリテーション科では積極的にがんリハビリテーションに取り組み、手術後も転院することなく当院の回復期病棟にて十分なリハビリの後に退院することが可能です。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

当該領域について対応しているか？
 緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 対応している 対応していない
 ・心疾患に対する外科手術の実施 対応している 対応していない
 ・血管造影装置を最新の機器へと更新しました。循環器科専門医と最新の医療機器の組み合わせにより、質の高いカテーテル検査、治療を提供して参ります。
 ・常勤医が1名であるため緊急対応は困難ではありますが、現状を維持し、可能な限り診療ニーズに応えて参ります。

③ 脳卒中

当該領域について対応しているか？
 脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 対応している 対応していない
 脳動脈クリッピング術 対応している 対応していない
 開頭血腫除去術 対応している 対応していない
 脳出血（くも膜下出血を含む）への対応 対応している 対応していない
 血栓除去術等の脳血管内手術 対応している 対応していない
 脳血管疾患等への早期リハビリの実施 対応している 対応していない
 ・奈良県脳卒中地域連携パスへの参加 参加している 参加していない
 ・脳神経外科常勤医2名体制により、開頭術・カテーテル治療を提供します。
 ・血管造影装置を最新の機器へと更新しました。脳血管内治療専門医と最新の医療機器の組み合わせにより、質の高いカテーテル治療を提供して参ります。

④ 救急医療

当該領域について対応しているか？
 救急告示病院の指定を受けているか？
 大腿骨骨折への対応
 病院群輪番制への参加
 小児科病院二次輪番体制への参加
 救急科専門医1名と他科医師により、現状の救急医療体制を維持する予定です。
 はい 対応している 参加している 参加していない
 はい 対応している 参加している 参加していない

⑤ リハビリ

当該領域について対応しているか？
 脳卒中中等循環器病への早期リハビリ
 回復期リハビリ病棟入院料届出の有無
 訪問リハビリの実施
 通所リハビリの実施
 理学療法士43名、作業療法士11名、言語聴覚士6名が在籍し、早期より集中的なリハビリテーションを提供しています。
 ・回復期病棟では365日リハビリテーション提供していますので、密度の高いリハビリテーションによる早期の機能回復を目指しています。
 はい 対応している 対応していない
 有り (病床数=45床) 無し
 対応している 対応していない
 対応している 対応していない

⑥ 在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。
 当該領域について対応しているか？
 在宅療養支援病院の届出の有無
 在宅療養後方支援病院の届出の有無
 訪問リハビリの実施（再掲）
 はい 有り 有り 対応している
 いいえ 無し 無し 対応していない
 （併設の訪問リハビリステーションにて）

地域包括ケア病棟45床と地域医療連携室の窓口機能を活用した、医療・介護施設との連携により、在宅医療への支援を行っています。
 ・在宅療養後方支援病院を届出しており、今後も継続して在宅医療への支援を行って参ります
 ・訪問診療等の在宅医療を開始予定です。

⑦ 訪問看護

病院看護師が当該領域について対応しているか？
 同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？
 はい 対応している 対応していない
 はい 対応している 対応していない
 併設の訪問看護ステーションにて、引き続き訪問看護サービスを提供します。

⑧ ACP (アドバンス・ケア・プランニング) への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」(「適切な看取りに対する指針」)を定めているか?

定めている	定めていない
はい	いいえ
している	していない
している	していない
参加している	参加していない

2020年10月に「適切な意思決定支援に関する指針」を定め、地域包括ケア病棟の入院患者さんを対象に説明を行い、今後、他の病棟も対応する予定です。

⑨ 小児医療

- ・当該領域について対応しているか?
- ・小児入院医療管理料の算定
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定
- ・小児科病院二次輪番体制への参加(再掲) 参加している
- ・令和3年4月に常勤医師2名が入職し、外来診療体制は整備できております。
- ・小児科病院二次輪番体制への参加は、現状困難な状況です。

⑩ 周産期医療

- ・当該領域について対応しているか?
 - ・分娩の取扱い
 - ・ハイリスク分娩管理加算の算定
- 今後も対応する予定はありません。

⑪ 災害医療

- ・当該領域について対応しているか?
 - ・災害拠点病院の指定を受けているか?
 - ・DMAT指定病院の指定を受けているか?
 - ・EMIS(広域災害救急医療情報システム)への参加
- 災害時は自院にて可能な範囲で協力する予定です。

⑫ へき地医療

- ・当該領域について対応しているか?
 - ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか?
- 今後も対応する予定はありません。

⑬ 医師の研修・派遣機能(臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能)

- ・当該領域について対応しているか?
 - ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか?
- 今後も対応する予定はありません。

⑭ 新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか?
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか?(重点医療機関か?)
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか?
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか?
- ・平時から自院院用で感染防護具等の備蓄をしているか?
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか?
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか?

令和3年5月10日付けで、新型コロナウイルス感染症重点医療機関に指定されております。

はい	いいえ
はい	いいえ
はい	いいえ
はい	いいえ
はい	いいえ
はい	いいえ

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について
 医療法人社団松下会は、一般急性期病床と地域包括ケア病床の白庭病院 150 床と回復期リハビリテーションセンターを中心とする東生駒病院 121 床、老人保健施設 100 床とサービスピッキ高齢者向け住宅 73 戸を有します。
 白庭病院は、急性期病床が 2 病棟 100 床、地域包括ケア病床が 1 病棟 50 床の合計 150 床のケアミックスで常勤医師 26 名により運営しています。地理的には大阪府や京都府との県境に近い生駒市の北に位置し、近鉄けいはんな線白庭台駅に隣接したケアセンターが良好です。
 当院の役割として、地域住民に対する救急対応を含めた安心安全の医療介護提供があり、奈良県が地域医療構想のポリシーとして打ち出している“断らない医療”と“面倒見のいい医療”、両方の機能を担っていきたいと考えます。
 断らない病院の機能として、救急対応の充実、特に内科、整形外科、脳外科を中心に、広く一次、二次の救急に対応します。さらに高度な治療が必要な患者には近大奈良病院、奈良県総合医療センターと連携し、後方支援の役割も担います。また手術治療に関しても、現在、整形外科・眼科・脳外科・外科・泌尿器科に対応し、年間約 1400 件の手術を行い、重症急性期の役割を果たします。
 面倒見のいい病院の機能として、地域包括ケア病床を利用し、高度急性期病院からのホストケアを担います。また、近隣の診療所・老健施設・介護事業所等からのサブケアを担います。また、自宅へ退院後は、訪問看護ステーションにて在宅医療介護を行います。加えてレスパイト入院の受け入れも行い、地域と病院の切れ目のないケアを目指しています。
 当病院の近隣地区は高齢化が進み、老老介護や単身高齢者も多いため、近隣自治会と定例会や医療セミナーを開催し、健康や医療・介護に対する最新の情報発信も大切な役割と考えます。予防の観点から検診にも力を注ぎます。常に地域のニーズを大切に、良質な医療サービスを提供できる体制の確立、地域他病院と協力し地域包括ケアシステムの地域完結型医療に貢献していきたいと考えています。

白庭病院

地域医療構想における 具体的対応方針

令和 3 年 1 1 月作成

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は難くない又は細小する役割・機能ができるかより明らかになるようご説明ください。

当院は重症急性期病院として診療科の強みと特徴を生かした診療が出来る体制を整えており、整形外科は脊椎・関節・手外科・外傷といったすべての運動器疾患を専門的に扱います。特に関節外科、脊椎外科、骨折外傷においては高水準であり、今後も当院の強みとして地域医療に貢献します。脳神経外科は脳卒中を中心とした救急体制の強化を行っており、内科は総合内科として広く対応すると同時に、循環器・消化器・呼吸器・血液、糖尿病といった専門領域での診療も行います。これらの急性期治療の後、在宅復帰に準備が必要な時は地域包括ケア病棟を經由して退院されることもありますが、大腿骨頭部骨折や脳卒中中等より密度の高いリハビリが必要なお時には、回復期リハビリ病棟を持つ専門病院との連携を図ります。

また、高度急性期病院の後方支援も積極的にやりたいと考えており、地域包括ケア病棟への直接転院だけでなく、重症度が高い患者は一旦、当院急性期病棟での治療後、地域包括ケア病棟への転院も対応します。さらに、訪問看護ステーションは自院から退院された患者だけでなく、地域他病院からの退院後フォローも担います。地理的な面からは、大阪府や京都府在住の患者も多く、近隣他府県の病院、診療所との連携も多々あるため、今後も強化します。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組(予定も含む)があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにするようにご説明ください。

連携とは提供する医療・介護の違いを補い、お互いの機能を補足することだと考えています。そのため、次の4項目を実践しております。

- ①地域の医療機関との“顔の見える”連携を図るために、地域連携研修会を毎年開催
- ②地区の医師会主催の研修会に積極的に講師を派遣し、ネットワークの構築
- ③感染対策や医療安全の地域連携システムを通じて、お互いを訪問し、病院間の相互理解増強
- ④地域の方々への情報発信として、近隣自治会と協力し、自治会主催の市民講座に医師やコメディカルの派遣や病院主催の公開講座を定期的に関

※行が足りない場合は通時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について
※様式1を踏まえ具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
※R3年度、R7年度(2025年度)の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

一般病床・療養病床	〈H28年度〉 (a)許可病床数		〈R3年度〉 許可病床数		最大使用病床数		(b-a) H28年度からの増減
	高度急性期	重症 軽症	回復期	慢性期	急性期	慢性期	
一般病床	0	100	0	100	0	86	0
療養病床	0	0	0	0	0	0	0
回復期	0	0	0	50	0	48	50
慢性期	0	0	0	0	0	0	-50
休養中 (今後再開する予定)	0	0	0	0	0	0	0
休養中 (今後廃止する予定)	0	0	0	0	0	0	0
(合計)	0	100	0	150	0	134	150
精神病床	0	0	0	0	0	0	0
介護医療院	0	0	0	0	0	0	0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数

・1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①～④の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）については、あてはまるものに○をつけてください。
 ※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。
 ※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数該当しても結構です。

① がん

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・手術の実施 肺 呼吸器 消化器 泌尿器 生殖器 乳腺 泌尿器 生殖器
- ・化学療法の実施 対応している 対応していない
- ・放射線治療の実施 対応している 対応していない
- ・拠点病院等の指定 がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。
 がん診療に関しては、外科常勤医師2名、泌尿器科常勤医師1名体制により、3.0
 テスラMR1や320列CTなど高度な医療機器を用いた確実な診断を行い、手術療法
 に関しても早期がんだけでなく進行がんにも対応しております。

手術後も身体的・心理的なダメージを軽減するため積極的にリハビリテーションを
 行っています。
 クリニカルパスを取り入れ、患者様に治療内容がより良く理解できるように努め、
 入院期間も短縮し早い社会復帰を可能にする医療を目指します。
 生駒市の乳がん検診にもいままで通り参加し、地域医療に貢献していきたいと考え
 ています。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 対応している 対応していない
- ・心疾患に対する外科手術の実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。
 循環器に関しては経験がある専門医が診療に当たっており、トレスミルを用いた
 運動負荷心電図や320列CTによる冠動脈造影などで確実な診断を行い、心臓カ
 テーテルが必要な場合は近隣の高度急性期病院と連携し治療にあたっています。

③ 脳卒中

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 対応している 対応していない
- ・脳動脈クリッピング術 対応している 対応していない
- ・開頭血腫除去術 対応している 対応していない
- ・脳出血（くも膜下出血を含む）への対応 対応している 対応していない
- ・血栓除去術等の脳血管内手術 対応している 対応していない
- ・脳血管疾患等への早期リハビリの実施 対応している 対応していない
- ・奈良県脳卒中地域連携パスへの参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。
 脳神経外科常勤医師2名体制でt-PAなどの保存的治療から開頭手術に至るまで幅
 広い治療を提供します。一次脳卒中センター（PSC）にも参加しており、脳卒中に
 おけるガイドラインや指針に従い治療を行っています。脳血管疾患等への早期リハ
 ビリも取組み、同法人の東生駒病院（回復期リハビリテーション）と密な連携を行
 い、患者さんの病後の生活全般をより良いものに取り組み、循環器
 増加している心原性脳梗塞についてもCTやMRIにより確実な診断を行い、循環器
 内科と連携し適切な治療を行います。

④ 救急医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・救急告示病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・大腿骨折への対応 対応している 対応していない
- ・病院群輪番制への参加 参加している 参加していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。
 救急医療の知識と経験が豊富な専門医が従事しており、二次救急医療機関としてス
 ムーズに救急患者の受入ができるように体制を整えています。また病院群輪番制に
 も参加しています。

特に脳外科緊急手術、急性腹症、切断肢再接着を含む整形外科外傷にも対応し、麻
 酔科常勤医師2名により緊急手術も可能です。
 また、奈良県総合医療センター ERシステムの生駒市における後方支援病院に登
 録しており、積極的な連携を行っています。

⑤リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・脳卒中等循環器病への早期リハビリ 対応している 対応していない
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り(病床数=床) 無し
- ・訪問リハビリの実施 対応している 対応していない
- ・通所リハビリの実施 対応している 対応していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能強化等)について記入してください。
 当院で急性期医療を受ける患者に対して、その疾患特性や障害の内容に合わせて発症後早期、手術後早期からリハビリ介入を積極的にを行い、個々の患者さんの状態に応じた、テーラードのリハビリメニューを処方しています。

リハビリ内容は理学療法だけでなく作業療法、言語聴覚療法も実施しており、超急性期で切れ目のないリハビリ介入が必要な患者へは、平日のみでなく土日祝もリハビリテーションを提供しており、手術患者の退院後の外来リハビリや訪問リハビリも実施しています。

地域包括ケア病棟でも自宅退院に向けて適切なリハビリを行い、また介護保険分野の事業所とも連携を密に、円滑かつシームレスな在宅支援を提供しております。

当院での急性期治療後に集中的なリハビリが必要な患者については、近隣の回復期リハビリ病棟と連携して治療にあたります。その際、治療早期から回復期リハビリ病棟への転院支援を行い、各療法士から当院でのリハビリ内容を回復期リハビリ病棟の療法士へ、直接、書面及び連絡にて的確に伝えるよう実施しております。

今後は、療法士増員を図り、365日の急性期リハビリテーションに対応し、また退院後の患者が安心した生活を送っていただけるよう患者本人・家族、介護保険分野の事業所等の繋がりを更に充実させていただきます。

⑥在宅医療

- ※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。
- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・在宅療養支援病院の届出の有無 有り 無し
- ・在宅療養後方支援病院の届出の有無 有り 無し
- ・訪問リハビリの実施(再掲) 対応している 対応していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能強化等)について記入してください。
 現在訪問診療を行っており、病院内に訪問看護ステーションを設置していることもあり、患者の状態に対し迅速な対応が可能です。

医師、看護師、薬局、ケアマネージャー、地域包括支援センター職員といった多くの職種が連携を取って、地域の患者を支えていける環境をつくっていきます。薬局の薬剤師と連携し、適切な服薬支援を行う体制の確保と充実にも取り組んでいます。

今後在宅医療ができる医師を採用し在宅医療を進めていく予定です。

⑦訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ
- (はいの場合 施設名称: 訪問看護ステーション エリクシール)

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能強化等)について記入してください。
 介護支援専門員等と連携し病状の変化があれば24時間365日訪問看護の提供が可能な体制を確保しています。

地域の利用者さんの暮らしを支えるため活動範囲を広げ、多くの方を支援できるように進めていきます。

⑧ACP(アドバンス・ケア・プランニング)への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」「適切な看取りに対する指針」を定めているか？ 定めている 定めていない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能強化等)について記入してください。
 当院では「適切な意思決定支援の指針」を定めており、患者様やご家族の皆様のご意思を尊重するとともに、その意思決定が出来るように適切な支援を行っていきま

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定 している していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加(再掲) 参加している 参加していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能強化等)について記入してください。
 今後地域のニーズが高くなれば検討したいと考えますが、今の段階では予定していません。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・分娩の取扱い 対応している 対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑪医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

初期研修に関しては関西医科大学の協力研修病院に指定されており、年1名程度の内科を中心とした地域医療の研修を行っています。

整形外科に関しては、日本専門医機構 専門医プログラムを基幹病院として運営しており、令和4年度には3名の後期研修医の受け入れを予定しています。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

災害医療に経験のある医師を中心に災害医療マニュアルを策定し、災害が発生した場合は、感染症のまん延防止、衛生面のケアなどを行い、被災者に対し健康管理を実施します。自院での受け入れはもちろんのこと救護所・避難所に医療従事者の派遣等体制も整えていきます。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

今後でも対応する予定がありません。

⑬新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？） はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
- ・平時から自病院内で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

新型コロナウイルス感染症に対して協力医療機関として疑似症患者の受入と発熱外来を行っており、迅速にTRC検査等病原体検査が出来る体制を整えています。感染管理認定看護師の常勤があり、専門的な知識を活かし感染症対策に迅速にこれからも取り組んでいきます。

医師会や奈良県のドライブスルー検査実施のチーム派遣や、新型コロナウイルス感染症宿泊施設や奈良県広域ワクチン等の医師派遣等積極的に参加しており、今後医療従事者の派遣が出来る体制を確保し、積極的に参加していきます。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について当院は令和3年11月より回復期リハビリテーション病棟が2病棟75床、障害者病棟が1病棟46床の合計121床で運営しております。

面倒見のいい医療を担う当院の役割は、地域のニーズを大切にし、急性期後のリハビリテーションから在宅、施設への退院後の訪問支援まで包括的なサービスを提供することです。

面倒見のいい病院の機能として、回復期リハビリテーション病棟は平成30年11月より施設基準1を取得し、自宅や施設への退院に必要な医療を強化しています。専門領域に精通したセラピストも当院の特徴です。また、障害者病棟は常に入院待ちの状態にあり、地域で必要とされている病棟であると考え、令和3年11月より8床増床し、46床で運営しております。

院内には居宅支援事業所を設け、退院後の生活まで含めた医療、介護提供を準備し、地域連携では診療所・老健施設・介護事業所等と連携を結んでおり、生駒市の入退院調整マニュアルに基づき介護事業者との入退院調整もスムーズに行っており、面倒見のいい病院として連携を強化しています。

外来においては、県内では数少ない小児発達障害リハビリテーションにも注力しており、小児から高齢者まで幅広い年代層が利用できますよう設備も整えています。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるときはあらかじめお知らせください。

当院は回復期リハビリテーションとして急性期治療後、在宅復帰目的の方へ効果あるリハビリテーションを実施しております。

また障害者病棟を併設し、パーキンソン病などの神経難病の患者、脳卒中など寝たきりで意識障害のある患者の治療、看護、リハビリを実施しております。

退院時には当院、他院や施設からの自宅、在宅系施設でのフォローをすべく居宅介護支援事業所を院内に設け、地域の介護サービスをスムーズに受けていただけるようにしています。

外来部門では奈良県では数少ない運動障害、発達障害等の小児リハビリテーションを実施しております。また訪問リハビリテーションの事業も実施しており、退院後の在宅におけるリハビリによりADLの向上も図っております。

今後も、回復期リハビリテーションを中心に、地域と医療、介護を繋ぐ地域密着型病院を目指します。

医療法人社団松下会 東生駒病院

地域医療構想における 具体的対応方針

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について
 ※複数病院間の連携協定など具体的な取組(予定も含む)があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるだけ明ららかに記載してください。

急性期病院との連携を図り、スムーズな受け入れを行うために、大鷲骨地域医療連携バス(西奈良中央病院、わかさ竜間リハビリテーション病院、登美ヶ丘リハビリテーション病院、奈良セントラル病院)と、奈良県脳卒中地域医療連携バス(奈良県下の急性期、回リハ、慢性期病院)の運用により情報の共有をしております。また近畿大学附属病院とは連携登録医制度に参加しております。外来の小児リハビリテーションでは、奈良県総合医療センター(4か月に1回の定期カンファレンス実施)、奈良県西和医療センター、近畿大学奈良病院、他小児科クリニックより紹介を受けています。訪問リハビリテーションでは、郡山保健所、奈良県総合医療センター、星が丘医療センター、他小児科クリニックより小児の紹介を受けております。また奈良県内の北和地域圏居宅介護支援事業所、生駒市・奈良市の地域包括支援センター、他院、回復期病院より成人の紹介を受けております。地域の活動においては、現在、生駒市と連携し、地域包括支援センターや当院セラピストを派遣し、介護予防事業にも貢献しております。また地域住民の依頼を受け、地域型サロンや体操教室等を開催するための院内スペースを提供し、地域住民の健康づくりに一役を担っております。今後も地域の方には身近に感じていただけたらいい取り組みを続け、地域住民との病院、施設を繋ぐ窓口の役割としてもサポートできる体制を整えていきます。

※行が足りない場合は連時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について
 ※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
 ※R3年度、R7年度(2025年度)の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

一般病床・療養病床	高度急性期		慢性期		回復期		慢性期		休養中 (今後再開する予定)		休養中 (今後廃止する予定)		(合計)		(b) 将来 (R7/2025年度) (H28年度からの増減)		
	急性期	重症 軽症	急性期	重症 軽症	回復期	慢性期	回復期	慢性期	休養中	休養中	休養中	休養中	休養中	休養中	休養中	休養中	休養中
					83	83	83	83									
					38	38	38	38									
					121	121	121	121							121		0
精神病床																	0
介護医療院																	0

※ 用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数
 ・1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①～⑨の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
 ※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。
 ※行が足りない場合は横断、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

・当該領域について対応しているか？ はい
 ・手術の実施 肺、呼吸器、消化器、乳腺、泌尿器、生殖器
 対応している ○
 ・化学療法の実施 対応している ○
 ・放射線治療の実施 対応している ○
 ・拠点病院等の指定 がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院
 対応している ○

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

・当該領域について対応しているか？ はい
 ・緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 対応している ○
 ・心疾患に対する外科手術の実施 対応している ○

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

③ 脳卒中

・当該領域について対応しているか？ はい
 ・脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 対応している ○
 ・脳動脈クリッピング術 対応している ○
 ・開頭血腫除去術 対応している ○
 ・脳出血（くも膜下出血を含む）への対応 対応している ○
 ・血栓除去術等の脳血管内手術 対応している ○
 ・脳血管疾患等への早期リハビリの実施 対応している ○
 ・奈良県脳卒中地域連携パスへの参加 参加している ○

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

④ 救急医療

・当該領域について対応しているか？ はい
 ・救急告示病院の指定を受けているか？ はい
 ・大腿骨折への対応 対応している ○
 ・病院群輪番制への参加 参加している ○
 ・小児科病院二次輪番体制への参加 参加している ○

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑤ リハビリ

・当該領域について対応しているか？ はい
 ・脳卒中中等循環器病への早期リハビリ 対応している ○
 ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り（病床数=75床） ○
 ・訪問リハビリの実施 対応している ○
 ・通所リハビリの実施 対応している ○

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

今後、通所リハについては行っていく方向で検討しています

⑥在宅医療

- ※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。
- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 - ・在宅療養支援病棟の届出の有無 無し 無し
 - ・在宅療養後方支援病棟の届出の有無 対応している 対応していない
 - ・訪問リハビリの実施（再掲）

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑦訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ
- （はいの場合 施設名称：）

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑧ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？ 定めている 定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定 している していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲） 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・分娩の取扱い 対応している 対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？） はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
- ・平時から自院用で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

新型コロナウイルス感染症治療後のリハビリが必要な患者については、積極的に受け入れをしていきます

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

この高齢化社会において整形外科として、運動器の障害、外傷に対する治療を継続し、地域の役に立っていきたいと考えます。

内科に関しては、総合内科として役割をはたし、専門性の高い病態に関しては、高次機能病院と連携し、治療にあたりたいと考えます。

検診等にも力を入れて、地域に貢献したいと考えます。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり明らかにできるようご説明ください。

整形外科の範囲に関しては、幅広く外来・入院・手術等を行っています。産婦人科・小児科・外科・各専門内科などは、高次機能病院にお願いしています。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組(予定も含む)があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにできるようご説明ください。

具体的な連携協定はありませんが、奈良県総合医療センター、近大奈良病院を中心に、専門性の高い病態に関してはお願いしています。西和医療圏というよりは、医療圏を超えて、交通の利便性などを考えて、奈良医療圏とも連携したいと考えています。

※行が足りない場合は通時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

倉病院

地域医療構想における

具体的対応方針

令和3年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について
※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
※R3年度、R7年度(2025年度)の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

一般病床・療養病床	高度急性期		〈H28年度〉 (a)許可病床数		〈R3年度〉 許可病床数		(b-a) (R7/2025年度) H28年度からの増減	
	重症	軽症						
急性期			60	60		60	0	0
回復期							0	0
慢性期							0	0
休養中 (今後再開する予定)							0	0
休養中 (今後廃止する予定)							0	0
(合計)			60	60		60	0	0
精神病床								
介護医療院								

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数

1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~③の領域の今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。
※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。
※行が足りない場合は添紙、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

- 当該領域について対応しているか? いいえ
- 手術の実施 肺、呼吸器 消化器 乳腺 泌尿器、生殖器
- 化学療法の実施 対応している 対応していない
- 放射線治療の実施 対応している 対応していない
- 拠点病院等の指定 がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

当該領域の検診には力を入れてゆきたいと考えております。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

- 当該領域について対応しているか? いいえ
- 緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 対応している 対応していない
- 心疾患に対する外科手術の実施 対応している 対応していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

特にありません。

③ 脳卒中

- 当該領域について対応しているか? はい いいえ
- 脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 対応している 対応していない
- 脳動脈クリッピング術 対応している 対応していない
- 開頭血腫除去術 対応している 対応していない
- 脳出血(くも膜下出血を含む)への対応 対応している 対応していない
- 血栓除去術等の脳血管内手術 対応している 対応していない
- 脳血管疾患等への早期リハビリの実施 対応している 対応していない
- 奈良県脳卒中地域連携バスへの参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

特にありません。

④ 救急医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・救急告示病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・大腿骨折への対応 対応している 対応していない
- ・病院群輪番制への参加 参加している 参加していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

現状の体制を維持しつつ、今後さらなる医師の充実を図り救急医療の受け入れ態勢を強化したい。

⑤ リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・脳卒中等循環器病への早期リハビリ 対応している 対応していない
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り（病床数＝） 無し
- ・訪問リハビリの実施 対応している 対応していない
- ・通所リハビリの実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

特にありません。

⑥ 在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・在宅療養支援病院の届出の有無 有り 無し
- ・在宅療養後方支援病院の届出の有無 有り 無し
- ・訪問リハビリの実施（再掲） 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

今後、医師・看護師の確保等、態勢の必要性が出れば検討したい。
現状では、既存の在宅医療との連携強化が出来れば望ましい。

⑦ 訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ

（はいの場合 施設名称：）

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑧ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？ 定めている 定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

今後、指針を定める方向で検討したい。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか? はい
- ・小児入院医療管理料の算定 していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加(再掲) 参加している

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。

特にありません。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか? はい
- ・分娩の取扱 対応している
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。

特にありません。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか? はい
- ・災害拠点病院の指定を受けているか? はい
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか? はい
- ・EMIS(広域災害救急医療情報システム)への参加 参加している

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。

現状維持ですが、さらなるスタッフの充実を目指します。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか? はい
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか? はい

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。

特にありません。

⑬医師の研修・派遣機能(臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能)

- ・当該領域について対応しているか? はい
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか? はい

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。

特にありません。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか? はい
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受けられているか? (重点医療機関か?) はい
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受けられているか? はい
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか? はい
- ・平時から自院用で感染防護具等の備蓄をしているか? はい
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか? はい
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか? はい

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。

感染管理の専門性を有する人材の確保に関しては、常勤内科医師2名が居りますので、今後も現状維持を考慮しております。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について
◎急性期病院として地域医療に貢献すること。

・救急患者を「断らない病院」を目指します。

→ 24時間365日、医師2名体制の当直及び専門医のオンコール体制、看護師・放射線技師・検査技師・薬剤師を配置し、CT・MRI・X線・血液等の諸検査、心臓カテーテル検査・治療、内視鏡検査・手術が可能な救急受入体制

・急変時の対応が可能な「面会見のよい病院」を目指します。

→ 増加する在宅患者やそのかかりつけ医をサポートする後方支援病院としての役割を果たすため、医療連携登録医や協力医療機関連携施設等との連携を強化し、在宅患者の入院加療用病床の確保など、在宅患者等の増悪時の受け入れを行います。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割、機能ができらざるかぎり明らかなようにご説明ください。

◎主要疾病における市立病院の役割

○がん

地域がん診療連携拠点病院（近畿大学奈良病院・奈良総合医療センター）と連携のもと精密検査や病理診断、手術療法、化学療法によるがん治療体制の充実を図ります。

○脳卒中

近畿大学奈良病院、奈良総合医療センター等との連携のもと、発病後、できる限り早期に検査・診断・治療できる体制の充実を図ります。

○急性心筋梗塞

奈良総合医療センターと連携のもと、緊急の心臓カテーテル検査・PCIが24時間365日可能な体制の充実を図ります。

○糖尿病

かかりつけ医との連携のもと、糖尿病低血糖症等急性増悪時の治療、慢性合併症の治療の充実を図ります。

○救急医療

救急患者を「断らない」という姿勢のもと、24時間365日受け入れ体制を整え、地域住民が安心できる救急医療体制の充実を目指します。
奈良総合医療センター、近畿大学奈良病院等との連携のもと、救急患者の状況に応じた適切な救急医療を実施します。

また、新型コロナウイルス疑似症患者の救急受入をします。

○围産期医療

自院での出産数は増加傾向であるが、それに留まらず一次診療所のバックアップ

生駒市立病院 地域医療構想における 具体的対応方針

令和3年11月作成

体制を確保します。(ハイリリスク分娩は地域周産期母子医療センターとの連携
 体制で対応)

○小児救急医療

小児の救急対応、入院患者の受け入れ等小児二次医療体制の整備を行い、北和
 小児科二次輪番における受入れ体制を充実します。

◎地域包括ケアシステムの構築に向けての市立病院の役割

- 医療と介護との円滑な連携体制を構築します。
 退院支援チーム、入退院調整マニュアルの推進による円滑な入退院を推進しま
 す。「やまと西和ネット」を活用し、患者の医療情報や介護情報を ICT で共有す
 ることで、円滑な医療と介護の連携を推進します。
- 在宅医療に取り組みかかつけ医等のバックアップ体制を構築します。
 在宅患者の急変時の受入の 24 時間対応可能な体制を確保します。

(3) (2) を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組(予定も含む)があれば、相手方の病院名やその取組の内容をでき
 るかぎり明らかにするようにご説明ください。

◎がん治療や脳卒中・急性心筋梗塞・周産期等の超急性の救急医療における連携推

- 進の取組
 →自圏域、近隣の高次病院との連携関係の強化に取り組みます。
 ◎市内等の救急医療、小児二次救急における連携推進の取組
 →市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制への参加に向けて、救急患者の市内
 受入率の向上を目指し、輪番病院のバックアップの役割を果たします。
 →さらなる小児科常勤医師の確保等院内の体制整備に取り組み、北和小児科二次
 輪番における受入体制を充実します。
 ◎在宅医療の支援における連携推進の取組
 →市内診療所との病診連携を進めていくため、医師会への入会を目指します。
 →地域の医療機関からの紹介患者の受入及び積極的な逆紹介に取り組みます。
 →医療連携登録医、連携施設の登録数の拡大に取り組みます。
 →地域の医療機関への医療機器の共同利用の促進に取り組みます。

※行が足りない場合は通称、行を増やしてください。種数数になっても結構です。

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※様式 1 を踏まえ具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28 年度の列は、別紙 1 - 2 「H28 年度病床数一覧」の数値を記入してください。
 ※R3 年度、R7 年度 (2025 年度) の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してくだ
 さい。

	<H28年度>		<R3年度>		(b) 将来 (R7/2025年度) H28年度からの増減
	(a) 許可病床数	最大使用病床数	許可病床数	最大使用病床数	
一般病 床	7	8	7	8	1
急性期	51	178	51	178	151
高度急性期	100	0	100	0	-100
重症	0	0	0	0	0
軽症	0	0	0	0	0
回復期	0	0	0	0	0
慢性期	0	0	0	0	0
療養病床	52	0	52	0	-52
休養中 (今後再開する予定)	0	0	0	0	0
休養中 (今後廃止する予定)	0	0	0	0	0
(合計)	210	186	210	186	0
精神病床	0	0	0	0	0
介護医療院	0	0	0	0	0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注 1) 最大使用病床数

・ 1 年間(R2. 4. 1~R3. 3. 31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①～⑥の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能補小、機能廃止等）について記入してください。
 ※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。
 ※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

・当該領域について対応しているか？ はい いいえ

・手術の実施 対応している 対応していない

・化学療法の実施 対応している 対応していない

・放射線治療の実施 対応している 対応していない

・拠点病院等の指定 がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能廃止等）について記入してください。

地域がん診療連携拠点病院（近畿大学奈良病院・奈良県総合医療センター）と連携のもと精密検査や病理診断、手術療法、化学療法によるがん治療体制の充実を図ります。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

・当該領域について対応しているか？ はい いいえ

・緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 対応している 対応していない

・心疾患に対する外科手術の実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能廃止等）について記入してください。

奈良県総合医療センターと連携のもと、緊急の心臓カテーテル検査・PCIが24時間365日可能な体制の充実を図ります。

③ 脳卒中

・当該領域について対応しているか？ はい いいえ

・脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 対応している 対応していない

・脳動脈クリッピング術 対応している 対応していない

・開頭血腫除去術 対応している 対応していない

・脳出血（くも膜下出血を含む）への対応 対応している 対応していない

・血栓除去術等の脳血管内手術 対応している 対応していない

・脳血管疾患等への早期リハビリの実施 対応している 対応していない

・奈良県脳卒中地域連携バスへの参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能廃止等）について記入してください。

近畿大学奈良病院、奈良県総合医療センター等との連携のもと、発病後、できる限り早期に検査・診断・治療できる体制の充実を図ります。

④ 救急医療

・当該領域について対応しているか？ はい いいえ

・救急告示病院の指定を受けているか？ はい いいえ

・大腿骨折への対応 対応している 対応していない

・病院詳細番制への参加 参加している 参加していない

・小児科病院二次輪番体制への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能廃止等）について記入してください。

救急患者を「断らない」という姿勢のもと、24時間365日受け入れ体制を整え、地域住民が安心できる救急医療体制の充実を目指します。
 奈良県総合医療センター、近畿大学奈良病院等との連携のもと、救急患者の状況に応じた適切な救急医療を実施します。

また、新型コロナウイルス感染症疑い患者の救急受入れを行います。
 ・市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制への参加に向けて、引き続き、関係機関と協議を行うとともに、救急患者の市内受入率の向上を目指し、市内等輪番病院や休日夜間応急診療所のバックアップの役割を果たします。
 ・小児二次医療体制の整備に努め、北和小児科二次輪番における受入体制を充実します。

⑤ リハビリ

・当該領域について対応しているか？ はい いいえ

・脳卒中等循環器病への早期リハビリ 対応している 対応していない

・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り（病床数＝床） 無し

・訪問リハビリの実施 対応している 対応していない

・通所リハビリの実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能廃止等）について記入してください。

⑥ 在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

・当該領域について対応しているか？ はい いいえ

・在宅療養支援病院の届出の有無 有り 無し

・在宅療養後方支援病院の届出の有無 有り 無し

・訪問リハビリの実施（再掲） 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能廃止等）について記入してください。

増加する在宅患者やそのかかりつけ医をサポートする後方支援病院としての役割を果たすため、医療連携登録医や協力医療機関連携施設等との連携を強化し、在宅患

者の入院加療用病床の確保など、在宅患者等の増悪時の積極的な受け入れを行います。
 入退院支援チームの推進、生駒市の入退院調整マニュアルの積極的な活用により、市内等の医療機関や介護事業者等との連絡調整と情報共有による円滑な入退院の推進を図ります。

⑦訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 - ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ
- (はいの場合、施設名称：)

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携状況や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑧ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？ 定めている 定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携状況や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定 している していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲） 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携状況や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

小児の救急対応、入院患者の受け入れ等小児二次医療体制の整備を行い、北和小児科二次輪番における受入体制を充実します。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・分娩の取扱 対応している 対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携状況や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

産科交流会、母親学級の開催や市の産後ケア事業に参入することで、産後の授乳指導・育児相談や母子のケア等を行い、母親の育児等を支援します。
 ・小児科と連携することで、新生児、乳幼児に係る母子医療体制を整備・充実します。
 ・ハイリスク分娩への対応は、奈良県総合医療センターと連携します。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携状況や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

大規模災害発生時において、傷病者の受け入れや医療救護に対応可能な体制を引き続き整備します。
 ・生駒市災害対策本部及び生駒市医師会災害対策本部と緊密な連携協力体制の下、市内4病院とともに後方支援病院として災害時医療を担います。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携状況や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携状況や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑩新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？） はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
- ・平時から自病院内で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との調整統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に備えて、引き続き、奈良県や市、医師会をはじめとする関係機関と情報交換しながら、PCR検査体制、新型コロナウイルス感染症患者の入院受入体制及びワクチン接種体制など、目まぐるしく変化する新型コロナウイルス感染症の状況に臨機応変に対応します。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について当センターは、西和地域(西和7町および香芝市、広陵町の一部を含む)の基幹病院として発展してきました。さらに、地域医療支援病院として紹介患者に対する医療や特に救急医療に力を入れてきました(西和二次医療圏内では救急搬送受け入れ件数が最も多い)。新型コロナウイルス感染症においては、いち早く新型コロナウイルス感染症患者の受け入れを開始するなど、公立病院としての役割を果たしてきました。今後は、特に重症急性期を担う基幹病院としての役割を基本に①救急機能(二次救急、小児救急)の更なる強化②地域医療支援病院として地域の重症急性期患者への最適な医療の提供③地域で必要とされる医療の提供さらに大規模災害時や感染症パンデミック時に二次医療圏の中心的役割を果たす病院づくりを目指します。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができらるかぎり明らかになるようご説明ください。

当センターは西和地域において地域の医療機関と西和メディケアフォーラムを通じて役割分担と連携を進めてきました。特に、新型コロナウイルス感染症パンデミックの時期に、病院間連携が進化し、役割分担が明確になってきています。今後も前述(1)を基本に更なる医療機関間の連携を進めて参ります。さらに、在宅療養後方支援病院として地域の在宅医療を担当する医療機関や地域包括支援センターとの連携を強化して、地域包括ケアを支援して参ります。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組(予定も含む)があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにするようにご説明ください。

西和7町における医療と介護の連携を円滑に進めるための枠組みである「西和メディケアフォーラム」をより発展させ、合同会議の他、部会(7町の地域包括支援センターによるマネジメント部会、看護部会、薬剤部会、セラピスト部会)のほか、病院間連携のための7町の6病院による地域連携室(部会)における議論や、医療と介護の連携で問題となる事例を具体的に検討する地域事例検討会での活動を支援して、地域における医療と介護の連携を推進してゆく方針です。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

奈良県西和医療センター 地域医療構想における

具体的対応方針

令和3年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について
※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

	<H28年度> (a)許可病床数		<R3年度> 許可病床数		<R7年度> (R7/2025年度) H28年度からの増減	
	高度急性期	重症 軽症	10	296	10	290
一般病床					8	4
療養病床					292	-4
急性期						
回復期						
慢性期						
休養中 (今後再開する予定)						
休養中 (今後廃止する予定)						
(合計)			300	300	300	0
精神病床						0
介護医療院						0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。
(注1) 最大使用病床数
1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~④の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。
※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 手術の実施 消化器 乳腺 泌尿器 泌尿器、生殖器
- 化学療法の実施 対応している 対応していない
- 放射線治療の実施 対応している 対応していない
- 拠点病院等の指定 がん診療連携拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、奈良県がん診療連携支援病院

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

- 奈良県地域がん診療連携支援病院（申請中）の役割を果たし、地域がん診療連携拠点病院（県総合医療センター等）と連携を図りながら、専門的ながん医療を提供する機能を充実を図ります。
- 外科的治療と化学療法等（および連携による放射線療法）によるがんの集学的治療を進めるとともに、腫瘍内科を中心としたチームが原発不明がん等の地域で診断困難ながん診断や、がん緩和ケア医療の提供を強化します。
- がん患者・家族への相談支援、法律に基づく院内がん登録等を行います。
- 引き続き、肺がん、乳がんの手術適応症例は、奈良県総合医療センター等に紹介、婦人科がんについても奈良県総合医療センターとの連携のなかで、婦人科腫瘍外来の設置などに取り組みます。
- 放射線治療が必要な症例については、奈良県総合医療センターなどの治療装置が整備された施設と連携してがんの集学的治療を円滑に行います。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 対応している 対応していない
- 心疾患に対する外科手術の実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

- 脳卒中循環器病基本法の施行に伴い、今後策定される県の循環器病対策推進計画に沿った医療を行います。心筋梗塞等急性冠症候群に対する救急医療については、従来の通り、24時間365日の緊急カテーテル治療に対応できる体制を継続します。
- 循環器内科、心臓血管外科、脳神経外科等の手術に対応できる血管造影装置を備えるハイブリッド手術室を整備し、高度な循環器疾患の手術を安全に施行できる体制を構築します。
- 集中治療科に集中治療専門医を配置し、循環器内科専門医および心臓血管外科専門医を協働することによりICUでの循環器集中治療体制をさらに強化します。また、従来からの人工呼吸やECMOを含めた全身管理に対応できる集中治療室体制を維持します。

⑤ リハビリ

- ・当該領域について対応しているか? **はい** **いいえ**
- ・脳卒中等循環器病への早期リハビリ **対応している** **対応していない**
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 **有り(病床数=)** **無し(床)**
- ・訪問リハビリの実施 **対応している** **対応していない**
- ・通所リハビリの実施 **対応している** **対応していない**

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等)について記入してください。

- 1) リハビリテーションには、大きく、急性期リハビリテーション、回復期リハビリテーション、生活期リハビリテーションがあり、当センターは急性期リハビリテーションを担います。早期からのリハビリテーションにより廃用症候群を予防し、機能回復の促進により入院期間を短縮し、より高い機能で社会復帰できるような支援を行います。
- 2) 脳血管疾患リハビリテーションだけでなく、心臓大血管リハビリテーションに加えて、慢性閉塞性肺疾患等の呼吸器リハビリテーションの充実を図り、心肺機能障害患者に対するリハビリテーションによる機能回復を目指す体制を構築します。
- 3) がん緩和医療とともに、がん患者リハビリテーションの充実を図ります。
- 4) 一方、地域の医療機関と連携できる回復期リハビリテーション、生活期リハビリテーションは当センターでは行わず、近隣の回復期リハビリテーション病院等と連携を進め、役割分担を明確にします。

⑥ 在宅医療

- ・当該領域について対応しているか? **はい** **いいえ**
- ・在宅療養支援病院の届出の有無 **有り** **無し**
- ・在宅療養後方支援病院の届出の有無 **有り** **無し**
- ・訪問リハビリの実施(再掲) **対応している** **対応していない**

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等)について記入してください。

- 1) 西和7町においての医療・介護を推進するため、地域の地域包括支援センターと連携して地域の医師・訪問看護師・社会福祉士・ケアマネージャー等の多職種からなる「西和メディケアフォーラム(地域検討会合同会議)」での意見集約を経て、地域の訪問診療、訪問看護、介護ケアの取り組みに対して、当院の在宅医療後方支援病院としての役割を更に充実させて参ります。
- 2) 入院患者が安心して自宅等に帰れるよう、在宅療養支援室と地域の在宅療養支援チームと連携して退院支援を充実します。
- 3) 西和7町で作成された入院退院連携マニュアルの評価・改正を行いながら医療・介護連携の強化を進めます。

③ 脳卒中

- ・当該領域について対応しているか? **はい** **いいえ**
- ・脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 **実施している** **実施していない**
- ・脳動脈クリッピング術 **実施している** **実施していない**
- ・開頭血腫除去術 **実施している** **実施していない**
- ・脳出血(くも膜下出血を含む)への対応 **実施している** **実施していない**
- ・血栓除去術等の脳血管内手術 **実施している** **実施していない**
- ・脳血管疾患等への早期リハビリの実施 **実施している** **実施していない**
- ・奈良県脳卒中地域連携バスへの参加 **参加している** **参加していない**

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等)について記入してください。

- 1) 脳卒中循環器病基本法の施行に伴い、今後、策定される県の循環器病対策推進計画に沿った医療を行います。
- 2) 脳卒中治療の基幹施設としての包括的脳卒中センターに対し、西和医療センターでは、特に発症から治療開始までに時間的猶予のない疾患に対応する一次脳卒中センター(t-PA投与、血栓吸引など実施)の役割を担います。
- 3) 心臓血管外科、脳神経外科、循環器内科等の手術に対応できる血管造影装置を備えるハイブリッド手術室を整備します。
- 4) 集中治療科に集中治療専門医を配置し、脳神経外科および脳神経内科の医師と協働することにより、重症脳卒中に対応できる集中治療管理体制を強化します。
- 5) 脳神経外科・脳神経内科の常勤医を増員することにより、特に休日・夜間の脳卒中診療体制を強化します。

④ 救急医療

- ・当該領域について対応しているか? **はい** **いいえ**
- ・救急告示病院の指定を受けているか? **はい** **いいえ**
- ・大腿骨骨折への対応 **対応している** **対応していない**
- ・病院群輪番制への参加 **参加している** **参加していない**
- ・小児科病院二次輪番体制への参加 **参加している** **参加していない**

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等)について記入してください。

- 1) 救急機能を強化し、西和医療圏内で発生する二次救急搬送に対する応需率を高めます。(目標:年間3000件を応需)。
- 2) 同時に複数の救急搬送患者の受け入れが可能となるよう、救急処置室を拡充します。救急科、総合診療科の専門医を複数確保するとともに、院内各科の専門医との連携体制を強化します。
- 3) 二次救急病院として、特に、心筋梗塞、脳卒中、消化器・腹部疾患についての応需率を高めます。

⑥ 訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか? はい
- ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか? はい
- (はいの場合 施設名称:)

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能向上等) について記入してください。

1) 当センターに所属する皮膚排泄ケア認定看護師、糖尿病看護認定看護師、感染管理認定看護師等の認定看護師および従来医師のみに限定されていた処置が可能となる特定行為の研究を修了した看護師が地域のケアマネージャーや訪問看護ステーションと協働することによって、地域における在宅療養支援体制を充実させます。

2) 母子保健事業 (市町村の新生児訪問事業等の地域活動) に当院所属の助産師を参画させ、地域の母子保健事業を支援します。

⑧ ACP (アドバンス・ケア・プランニング) への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」(「適切な看取りに対する指針」)を定めているか? 定めている

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能向上等) について記入してください。

当センターでは看取りを目的とした入院診療を行うことがほとんどない実態ではありますが、地域の医療と介護が連携して患者の人生の最終段階での意思決定を支援するという観点で、急性期医療から回復期、慢性期の医療や在宅介護に至るまでの連続性と一体性を考慮して、今後「適切な意思決定支援に関する指針」を地域の医療機関やケアマネージャー、訪問看護ステーション等と連携をとりながら、地域で整備・活用してゆく体制を構築します。

⑨ 小児医療

- ・当該領域について対応しているか? はい
- ・小児入院医療管理料の算定 している
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 参加している
- ・小児科病院二次輪番体制への参加 (再掲) 参加していない

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能向上等) について記入してください。

1) 小児医療は、地域で必要とされる医療であるため、当センターは西和医療圏における小児医療の拠点としての機能を継続し、さらに小児科医を増員して発展させます。また、在宅小児医療のレスパイト入院について、ニーズの把握を行った上で導入を検討します。

2) また、二次輪番担当病院として積極的に救急診療体制を充実させます。一方、現在の中南和医療圏を担当する体制については、患者の移動の負担を考へ、対象地域の枠組みについての検討が必要と認識しています。

⑩ 周産期医療

- ・当該領域について対応しているか? はい
- ・分娩の取扱いは している
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 していない

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能向上等) について記入してください。

1) 産科診療については、令和元年8月から分娩を奈良県総合医療センターと連携して行うことにいたしましたので、当センターでは分娩を行いませんが、妊婦健診・産後ケアは引き続き西和医療センターの産婦人科で行います。

2) ハイリスク分娩管理については、奈良県総合医療センターのNICU (新生児集中治療室)、GCU (新生児回復治療室) に集約します。

⑪ 災害医療

- ・当該領域について対応しているか? はい
- ・災害拠点病院の指定を受けているか? はい
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか? はい
- ・EMIS (広域災害救急医療情報システム) への参加 参加している

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能向上等) について記入してください。

1) 現在協議中の新病院は、十分な耐震性能を有する施設とします。

2) 移転候補地である王寺町は、大和川浸水想定区域図 (ハザードマップ) では、2m~5mの浸水想定区域であることから、これを想定した建物計画が必要とす。

3) 具体的には、主要な病院機能を2階以上に配置することや、電気設備等の重要施設を高層階に設置することなどを検討します。

⑫ へき地医療

- ・当該領域について対応しているか? はい
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか? はい

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能向上等) について記入してください。

当センターはへき地医療の機能を有しておりませんが、へき地医療拠点病院への研修医派遣という形で、へき地医療に貢献します。

⑬ 医師の研修・派遣機能 (臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能)

- ・当該領域について対応しているか? はい
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか? はい

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能向上等) について記入してください。

医師臨床研修については、基幹型臨床研修病院として、今後も医師教育体制を発展させます。所属研修医数は現状の20名体制を基本に、地域の医療機関を含む県内の臨床研修協力医療機関への派遣を継続します。

⑩新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？） はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
- ・平時から自病院用で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能集約や連携、機能強化、機能強化等）について記入してください。

現在、県および地域自治体と協議中の新病院構想においては、新興感染症に対応する医療を迅速にかつ適切に提供するため、2病棟（90床程度）を降圧化可能な新興感染症対応病床とする計画です。その他、集中治療室にも感染症対応病床を計画します。将来の新興感染症パンデミック時には、県内でいち早く対応でき、かつ多くの患者を受け入れることのできる感染症診療体制を目指します。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

- ・当院は県下では最大病床数の精神科病院であり、認知症疾患医療センターをはじめとする多様な関係施設を有し、地域ケア体制の充実に努めている。また、日本認知症学会の専門教育施設でもあり、認知症(若年性認知症含む)の鑑別診断を週5回行える体制を2019年にはMRIを導入、認知症(若年性認知症含む)の鑑別診断を週5回行える体制を維持し、お待たせしない医療に取り組んでいる。
- ・また、本人や家族が望む暮らしを実現するための工夫と一緒に考えるという姿勢を大切にしており、具体的にはコロナ禍の中で感染対策を徹底しながら、本人と家族の気持ちに寄り添うためのシステム構築のため、オンライン面会やオンライン認知症カフェをいち早く実施している。
- ・更にオンラインでの認知症関連の研修会や講演会を行うことで、地域における正しい知識の普及啓発に今後も継続して取り組んでいく。

地域医療構想における
具体的対応方針

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

- ※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるときはあらかじめご説明ください。
- ・精神科救急あるいは急性期の治療を必要とする方や認知症の周辺症状を発症した方を受け入れる体制の維持、また、治療後に本人主体の暮らしが地域で実現できるようなネットワークを構築するため、地域の支援機関やかかりつけ医との情報共有を積極的に行い、切れ目のない医療と介護の連携を行っていく。
- ※当院が担う機能：精神科救急、急性期、認知症、児童思春期医療
縮小する機能(公的機関に委ねる機能)：医療観察法、依存症関連

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

- ※複数病院間の連携協定など具体的な取組(予定も含む)があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるときはあらかじめご説明ください。
- ・西和7町の6病院(当院、西和医療センター、奈良友誼会病院、西大和リハビリテーション病院、服部記念病院、恵王病院)で運営する西和メデイカルフォーラムに参加し、他職種で顔の見える連携の構築への取組を行っている。
- ・また、認知症初期集中支援チームや自治体の実施する認知症相談会にも当院職員を派遣、協力体制を確立し、今後も維持していく方針。

令和3年11月作成

※行が足りない場合は通時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について
 ※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
 ※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

	<H28年度>		<R3年度>		(b-a)	
	(a)許可病床数	許可病床数	(R7/2025年度)	H28年度からの増減	(b)	(b-a)
一般病床	高度急性期	0	0	0	0	0
	急性期	0	0	0	0	0
療養病床	回復期	0	0	0	0	0
	慢性期	47	47	47	0	0
養病病床	休養中 (今後再開する予定)	0	0	0	0	0
	休養中 (今後廃止する予定)	0	0	0	0	0
	(合計)	47	47	47	0	0
精神病床		653	653	653	0	0
介護医療院		0	0	0	0	0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。
 (注1) 最大使用病床数

・1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~③の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

当該領域について対応しているか?	はい	いいえ
手術の実施	肺、呼吸器、消化器、泌尿器、生殖器	対応していない
化学療法の実施	対応している	対応していない
放射線治療の実施	対応している	対応していない
拠点病院等の指定	がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院、奈良県地域がん診療連携支援病院	
今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。		
[該当せず]		

② 心筋梗塞等の心血管疾患

当該領域について対応しているか?	はい	いいえ
緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施	対応している	対応していない
心疾患に対する外科手術の実施	対応している	対応していない
今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。		
[該当せず]		

③ 脳卒中

当該領域について対応しているか?	はい	いいえ
脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施	対応している	対応していない
脳動脈クレンジング術	対応している	対応していない
開頭血腫除去術	対応している	対応していない
脳出血（くも膜下出血を含む）への対応	対応している	対応していない
血栓除去術等の脳血管内手術	対応している	対応していない
脳血管疾患等への早期リハビリの実施	対応している	対応していない
奈良県脳卒中地域連携パスへの参加	参加している	参加していない
今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。		
[該当せず]		

④ 救急医療

- ・当該領域について対応しているか？
- ・救急告示病院の指定を受けているか？
- ・大腿骨骨折への対応
- ・病院群輪番制への参加
- ・小児科病院二次輪番体制への参加

はい
はい
対応している
参加している
参加している

いいえ
いいえ
対応していない
参加していない
参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

[該当せず]

⑤ リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？
- ・脳卒中等循環器病への早期リハビリ
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無
- ・訪問リハビリの実施
- ・通所リハビリの実施

はい
対応している
有り（病床数＝床）
対応している
対応している

いいえ
対応していない
無し
対応していない
対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

[該当せず]

⑥ 在宅医療

- ※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。
- ・当該領域について対応しているか？
- ・在宅療養支援病院の届出の有無
- ・在宅療養後方支援病院の届出の有無
- ・訪問リハビリの実施（再掲）

はい
有り
有り
対応している

いいえ
無し
無し
対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

[該当せず]

⑦ 訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？
- ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？

はい
はい

いいえ
いいえ

※グループ法人内

（はいの場合 施設名称：AD-7訪問看護センターしんざん等県内4カ所）

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。
・グループ内のステーションが連携し、西和に加え、北和及び中和地区の広範囲に展開、13人の看護師が在籍し24時間緊急時対応できる体制を構築、また、三郷町の「やわらぎクリニック」と医療連携しており、身体合併症への対応も強化、今後もこの体制を維持していく方針。

⑧ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針1」）を定めているか？

それぞれ定めている
定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。
・更なる多職種との連携強化と本人の意思及び家族の意思を尊重した関わりでの充実を図り、出来る限りの選択肢の中でより希望に叶い、より最適な地域医療機関や福祉施設との連携を推進していく。
・また、同時に在宅での療養が困難な患者、家族の要望にも応え、長期での療養にも対応していく方針。

⑨ 小児医療

- ・当該領域について対応しているか？
- ・小児入院医療管理料の算定
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲）

はい
している
している
参加している

いいえ
していない
していない
参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

[該当せず]

⑩ 周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ 対応していない
- ・分娩の取扱い 対応している 対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化等）について記入してください。

[該当せず]

⑬ 医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ 対応していない
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ 対応していない

※研修医受入のみ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化等）について記入してください。
 ・当院は協力的臨床研修病院であり、現在、西和医療センター及び近大奈良病院から研修医を受け入れている。精神疾患への理解を深め合併症への対応力強化のためにも対応可能な範囲で拡大を検討していきたい。

⑭ 新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ 対応していない
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？） はい いいえ 対応していない
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ はい いいえ 対応していない
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ 対応していない
- ・平時から自病院内で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ 対応していない
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ 対応していない
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ 対応していない

※現在届出申請中

[該当せず]

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化等）について記入してください。

- ・コロナ病棟を設置し重点医療機関の届出申請中。
- ・引き続き、入院患者の感染対策に万全を期すとともに、今後は重点医療機関として地域における責務を果たしていく所存。

⑯ へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ 対応していない
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化等）について記入してください。

[該当せず]

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

急性期病院の後方支援としてのリハビリテーションに特化した病院として患者の社会復帰の支援を担っています。回復期病棟において社会復帰に向け集中的にリハビリテーションを提供し、在宅支援として訪問リハ及び通所リハを提供しています。今後は急性期からのリハビリテーションの早期に提供が必要な患者の増加が見込まれる為、回復期病棟の充実を考えています。また療養病棟において、重度の障害者及び難病患者、長期に療養が必要な患者を入院させる機能も有しています。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができらるよう明らかならご説明ください。

急性期の患者に対しての対応は出来ません。地域医療をさらに充実をさせ自病院の機能に適した役割を担います。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組(予定も含む)があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにしご説明ください。

奈良県や地域において進められている入退院調整ルール策定において県・市町村・病院・施設・地域のケアマネージャーの連携がスムーズに行える制度策定の為に当院の機能を積極的に発信します。

※行が足りない場合は通時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

医療法人 友誼会
西大和リハビリテーション病院
地域医療構想における
具体的対応方針

令和3年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について
※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

一般病床 療養病床	高度急性期		〈H28年度〉 (a)許可病床数		〈R3年度〉 許可病床数		(b)将来 (R7/2025年度)		(b-a) H28年度からの増減	
	重症 軽症	回復期	重症 軽症	回復期	重症 軽症	回復期	重症 軽症	回復期	重症 軽症	回復期
				99	99		149	50		0
				100	100		50	-50		0
										0
										0
				199	199		199	-0		0
精神病床										0
介護医療院										0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数
1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~③の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。
※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。
※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

当該領域について対応しているか？	はい	いいえ
手術の実施	肺、呼吸器	消化器
化学療法の実施	乳癌	泌尿器、生殖器
放射線治療の実施	対応している	対応していない
拠点病院等の指定	対応している	対応していない
今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。	がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院	

② 心筋梗塞等の心血管疾患

当該領域について対応しているか？	はい	いいえ
緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施	対応している	対応していない
心疾患に対する外科手術の実施	対応している	対応していない
今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。		

③ 脳卒中

当該領域について対応しているか？	はい	いいえ
脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施	対応している	対応していない
脳動脈クリッピング術	対応している	対応していない
開頭血腫除去術	対応している	対応していない
脳出血（くも膜下出血を含む）への対応	対応している	対応していない
血栓除去術等の脳血管内手術	対応している	対応していない
脳血管疾患等への早期リハビリの実施	対応している	対応していない
奈良県脳卒中地域連携バスへの参加	参加している	参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

現在、手術後のリハビリを回復期病棟において受入れています。
 今後の方針としては、回復期病棟を99床から149床に増床し、対象患者が早期に受入出来る体制を整える予定です。

④ 救急医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・救急告示病院の指定を受けているか？ はい
- ・大腿骨骨折への対応 対応している
- ・病院群輪審制への参加 参加している
- ・小児科病院二次輪審体制への参加 参加している

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑤ リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・脳卒中等循環器病への早期リハビリ 対応している
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り（病床数=99床）
- ・訪問リハビリの実施 対応していない
- ・通所リハビリの実施 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

現在、手術後のリハビリを回復期病棟において受入れています。
 今後の方針としては、回復期病棟を99床から149床に増床し、対象患者が早期に受入出来る体制を整える予定です。

⑥ 在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・在宅療養支援病院の届出の有無 有り
- ・在宅療養後方支援病院の届出の有無 有り
- ・訪問リハビリの実施（再掲） 対応している

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

現在、訪問リハビリはPTのみの配置であるが、在宅でのニーズを踏まえてOT（在宅改修や介護負担の軽減など）やST（嚥下障害やコミュニケーション能力など）を増員し、幅広いニーズに対応できるようにしていく予定です。また、在宅療養が困難になってきた際に、一時的に当院療養病棟に入院し、生活環境や在宅ケアを見直すなどのリハビリテーションに特化した支援体制を整えていきます。

⑦ 訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい
- ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい

（はいの場合 施設名称：
 ）

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑧ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？ 定めている

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？
- ・小児入院医療管理料の算定
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲）

はい
している
している
参加している

いいえ
していない
していない
参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能廃止等）について記入してください。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？
- ・分娩の取扱い
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定

はい
対応している
している

いいえ
対応していない
していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能廃止等）について記入してください。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加

はい
はい
はい
参加している

いいえ
いいえ
いいえ
参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能廃止等）について記入してください。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？

はい
はい

いいえ
いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能廃止等）について記入してください。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？

はい
はい

いいえ
いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能廃止等）について記入してください。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？）
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？
- ・平時から自病院用で感染防護具等の備蓄をしているか？
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？

はい
はい
はい
はい
はい
はい
はい

いいえ
いいえ
いいえ
いいえ
いいえ
いいえ
いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能廃止等）について記入してください。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

西和地域において、今後も引き続き高齢者人口の増加が見込まれるため、地域住民に幅広い医療を提供できるよう現状の診療科目を継続し、心身共に寄り添える医療の提供を行っていく。在宅患者（高齢者施設利用者含む）の急変時における救急医療の提供や近隣開業医との病診連携を充実させていく。また、独居の方などで生活環境におけるさまざまな理由で、必要な医療を受けることが出来ない方を地域包括支援センターと連携・協力しながら医療提供を行っていく。その中で、高度・重症急性期医療が必要な場合は、地域基幹病院等との病診連携により紹介し、急性期医療を終えられた後は、当院にて引き続き治療を継続し、在宅復帰までの入院管理を行う。また、療養病床や在宅・高齢者施設では管理困難（医療必要度の高い）な患者、透析患者、重度の障害者（意識障害者を含む）、神経難病患者等への慢性期医療の提供も積極的に行っていく。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができなくなるようご説明ください。

循環器内科及び心血管外科や、脳神経外科での緊急の手術・処置等が必要とする場合は、地域基幹病院へ紹介・治療をお願いする。
急性期医療を終えられた後で、療養病床や自宅及び高齢者施設では医療的に管理困難で継続しての入院加療が必要な場合は、当院にて受け入れを行う。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにするようにご説明ください。

奈良県西和医療センターを中心とした西和地域内の病院・診療所・高齢者施設との、医療から介護における密な連携への積極的取り組みを行っていく。

- ・ 高度・重症急性期を担う医療機関との地域医療連携担当同士の情報交換・交流
- ・ 西和地域7町による入退院調整ルールの活用による医療と介護の連携への取り組み
- ・ 奈良県西和医療センター主催の地域医療連携部会への参加 等

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数行になっても結構です。

医療法人友誼会 奈良友誼会病院 地域医療構想における 具体的対応方針

令和3年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について
※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

	<H28年度>		<R3年度>		(b-a)	
	(a)許可病床数	最大使用病床数	許可病床数	最大使用病床数	(R7/2025年度)	H28年度からの増減
一般病床	高度急性期					0
	急性期					0
療養病床	回復期	49	49	49	49	0
	慢性期					0
	休養中 (今後再開する予定)	143	143	143	143	0
	休養中 (今後停止する予定)					0
	(合計)	192	192	192	192	0
精神病床						0
介護医療院						0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数

…1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~③の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。
※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

- 当該領域について対応しているか？ いいえ
- 手術の実施 はい 泌尿器 生殖器 生体器
- 化学療法の実施 対応している 対応していない
- 放射線治療の実施 対応している 対応していない
- 拠点病院等の指定 がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 対応している 対応していない
- 心疾患に対する外科手術の実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

③ 脳卒中

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 対応している 対応していない
- 脳動脈クリッピング術 対応している 対応していない
- 開頭血腫除去術 対応している 対応していない
- 脳出血（くも膜下出血を含む）への対応 対応している 対応していない
- 血栓除去術等の脳血管内手術 対応している 対応していない
- 脳血管疾患等への早期リハビリの実施 対応している 対応していない
- 奈良県脳卒中地域連携パスへの参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

④ 救急医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・救急告示病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・大腿骨骨折への対応 対応している 対応していない
- ・病院群輪番制への参加 参加している 参加していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑤ リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・脳卒中等循環器病への早期リハビリ 対応している 対応していない
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り（病床数＝床） 無し
- ・訪問リハビリの実施 対応している 対応していない
- ・通所リハビリの実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑥ 在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・在宅療養支援病院の届出の有無 有り 無し
- ・在宅療養後方支援病院の届出の有無 有り 無し
- ・訪問リハビリの実施（再掲） 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑦ 訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ
- ・（はいの場合 施設名称：）

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑧ A.C.P（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？ 定めている 定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？
- ・小児入院医療管理料の算定
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定
- ・小児科病院二次編番体制への参加（再掲）

はい
している
している
参加している

いいえ
していない
していない
参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？
- ・分娩の取扱
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定

はい
対応している
している

いいえ
対応していない
していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加

はい
はい
はい
参加している

いいえ
参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？

はい
はい

いいえ
いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？

はい
はい

いいえ
いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？）
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？
- ・平時から自院用で感染防護具等の備蓄をしているか？
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？

はい
はい
はい
はい
はい
はい
はい

いいえ
いいえ
いいえ
いいえ
いいえ
いいえ
いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について
地域において担う役割・機能を見据えて、目標とする病院像として、「地域完結型
の急性期病院」「地域に根差した面倒見のいい病院」の二つを掲げている。急性期病
床、地域包括ケア病床、療養病床の機能を有する182床の在宅支援病院である。

◎一般急性期病床

かかりつけ患者、地域の診療所からの紹介、介護施設からの入院治療を行っている。
多くは地域の高齢者で、慢性疾患の急性増悪、肺炎などの感染症、骨折などが疾病
の大半を占める。最近では外科手術治療にも力を注ぎ、診療所からの消化器癌の紹介
患者も多くなってきた。検査診断から手術治療、術後外来フォローまで、自宅近く
で完結できる病院を目指している。

24時間365日、在宅や近隣介護施設での急変・救急を随時受け入れており、地域事
情やニーズに考慮した対応を行っている。

◎地域包括ケア病床

高齢者の治療に長時間を要する場合が多い。また急性期治療が終了しても、食事の
問題やADL低下で在宅復帰に問題があることも多い。時間をかけて在宅へ繋ぐ病床
で、最近では先進高度医療の急性期病院からの紹介転院も多くなってきている。
在宅復帰率80%以上・病床稼働100%で運用している。

患者各人の家庭的事情を加味した退院調整、在宅や介護施設などへスムーズな移行
を可能とする退院調整を行っている。

◎療養病床

多くは人工呼吸器や中心静脈栄養管理の患者で、人生の最終段階における意思決定
ガイドラインを用いて、最終の看取りケアまで実践している。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において自院が担わない又は縮小する役割・機能ができればより明らかになるようご説明ください。

急性期治療を含め地域完結型の医療で、本人や家族の意向を踏まえた全人的医療を
行うことを目指している。地域の診療所、介護事業所とも連携した在宅医療の支援
で、急性期医療から在宅復帰までの「橋渡しの機能」が当院の担うべき病病間、
病診間での役割（分担）と考える。

(担わない又は縮小する役割機能)

- ① がん診療拠点病院機能
- ② 脳卒中・急性心筋梗塞などの高度先進医療実施病院
- ③ 高次救急医療機能

医療法人郁慈会 服部記念病院

地域医療構想における

具体的対応方針

令和3年11月作成

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにするようご説明ください。

複数の慢性疾患を抱えながら地域で生活する高齢者やその家族を地域とともに支えることが、当院が掲げる「地域に根差した面会型のいい病院」と考えている。これを実現化させる取り組みとして①施設入所者への訪問診療、看取り支援②在宅・施設での急変時の随時受け入れ③高度急性期病院から在宅への橋渡しの転院、退院支援などを行っている。さらに推進強化させたい。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
 ※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

	<H28年度>		<R3年度>		(b-a) (R7/2025年度)-H28年度からの増減
	(a)許可病床数	最大使用病床数	許可病床数	最大使用病床数	
一般病床					0
療養病床					0
高度急性期					0
急性期					0
重症			0		0
経症		120	120	119	0
回復期					0
慢性期		42	42	42	0
休養中					0
(今後再開する予定)					0
休養中					0
(今後廃止する予定)					0
(合計)	162	162	162	161	0
精神病床					0
介護医療院					0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数

・1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①～⑨の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。
 ※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。
 ※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数教になっても結構です。

- ① がん
- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 - 手術の実施 はい いいえ
 - 化学療法の実施 はい いいえ
 - 放射線治療の実施 はい いいえ
 - 拠点病院等の指定 はい いいえ

がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院
今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化等）について記入してください。
 近隣のクリニックからのご紹介もあり、当院で対応可能ながん領域については、積極的に対応していく

② 心筋梗塞等の心血管疾患

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 はい いいえ
- 心疾患に対する外科手術の実施 はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化等）について記入してください。
 今後取り組む予定なし

③ 脳卒中

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 はい いいえ
- 脳動脈クリッピング術 はい いいえ
- 開頭血腫除去術 はい いいえ
- 脳出血（くも膜下出血を含む）への対応 はい いいえ
- 血栓除去術等の脳血管内手術 はい いいえ
- 脳血管疾患等への早期リハビリの実施 はい いいえ
- 奈良県脳卒中地域連携バスへの参加 はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化等）について記入してください。
 今後取り組む予定なし

④ 救急医療

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 救急告示病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- 大腿骨骨折への対応 はい いいえ
- 病院群輪番制への参加 はい いいえ
- 小児科病院二次輪番体制への参加 はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化等）について記入してください。
 3次救急病院からの転院受け入れ等で取り組んでいく

⑤ リハビリ

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 脳卒中中等循環器病への早期リハビリ はい いいえ
- 回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 はい いいえ
- 訪問リハビリの実施 はい いいえ
- 通所リハビリの実施 はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化等）について記入してください。
 医療・介護サービスの提供体制の充実を目指す当院としては、在宅診療部門（リハビリ）を強化していく

⑥ 在宅医療

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 在宅療養支援病院の届出の有無 はい いいえ
- 在宅療養後方支援病院の届出の有無 はい いいえ
- 訪問リハビリの実施（再掲） はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化等）について記入してください。
 医療・介護サービスの提供体制の充実を目指す当院としては、在宅診療部門（リハビリ）を強化していく

⑦ 訪問看護

- 病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ

（はいの場合 施設名称：）
今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化等）について記入してください。
 医療・介護サービスの提供体制の充実を目指す当院としては、在宅診療部門（訪問看護）を強化していく

⑨ ACP (アドバンス・ケア・プランニング) への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」(「適切な看取りに対する指針」)を定めているか?

定めている 定めていない

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。
 医療・介護サービスの連携強化も含め、在宅看取りおよび療養病棟での最期には積極的に取組み継続していく

⑩ 小児医療

- ・当該領域について対応しているか? はい いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定 している していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している していない
- ・小児科病棟二次輪番体制への参加 (再掲) 参加している 参加していない

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。
 今後取組む予定なし

⑪ 周産期医療

- ・当該領域について対応しているか? はい いいえ
- ・分娩の取扱い 対応している 対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。
 今後取組む予定なし

⑫ 災害医療

- ・当該領域について対応しているか? はい いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか? はい いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか? はい いいえ
- ・EMIS (広域災害救急医療情報システム) への参加 参加している 参加していない

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。
 隣接する高齢者施設や介護困難者などへの対応も必須となるため、当院のBCPの充実だけでなく、医療依存度の高い福祉避難所なども計画していく

⑬ へき地医療

- ・当該領域について対応しているか? はい いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか? はい いいえ

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。
 今後取組む予定なし

⑭ 医師の研修・派遣機能 (臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能)

- ・当該領域について対応しているか? はい いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか? はい いいえ

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。
 今後取組む予定なし

⑮ 新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか? はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか? (重点医療機関か?) はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか? はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか? はい いいえ
- ・平時から自病院内で感染防護具等の備蓄をしているか? はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか? はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか? はい いいえ

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。
 現状維持していく

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について当院の役割としては従来通り、地域における「何時でも診てくれる」敷居の低い病院として、救急、重症急性期、軽症急性期を担う事と考えております。
 新型コロナウイルスの対応としては、発熱外来や疑似症の患者様の受入等、今後も柔軟に対応してまいります。
 また、ヤマト健診クリニックにおいて、予防医学を進めております。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において自院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり明らかにできるようご説明ください。
 二次救急の応需病院ですが、三次救急患者で受け入れ先がない等困難な場合は、一旦診させていただき、受け入れ先が確保できるまでは、出来得る限りの治療を施し転医先へと導く役割を果たします。
 在宅へ戻ることが困難な患者様の対応として、地域包括ケア病床での受け入れを行い、地域との連携を図りながら在宅へ戻す役割を果たします。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにするようにご説明ください。
 地域連携として、前方支援・後方支援を強化し、地域との病診連携・病病連携を取り、現状を維持していきます。
 西和医療センターや近畿大学奈良病院や、提携医療機関となり患者様の紹介や受入を行っています。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

恵王病院 地域医療構想における

具体的対応方針

令和3年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について
※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

一般病床 療養病床	高度急性期		＜R3年度＞ (a)許可病床数		＜R3年度＞ (b)将来 (R7/2025年度)		(b-a) H28年度からの増減	
	急性期	重症 軽症	52	52	52	53	0	0
	回復期		53	53	53	53	0	0
	慢性期						0	0
	休棟中 (今後再開する予定)						0	0
	休棟中 (今後廃止する予定)						0	0
	(合計)		105	105	105	105	0	0
	精神病床						0	0
	介護医療院						0	0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。
(注1) 最大使用病床数
1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~④の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。
※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

当該領域について対応しているか？

手術の実施 肺、呼吸器 はい いいえ
 化学療法の実施 はい いいえ
 放射線治療の実施 対応している 対応していない
 拠点病院等の指定 対応している 対応していない
 がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県がん診療連携支援病院

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

当該領域について対応しているか？

緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 はい いいえ
 心疾患に対する外科手術の実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

③ 脳卒中

当該領域について対応しているか？

脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 はい いいえ
 脳動脈クリッピング術 対応している 対応していない
 開頭血腫除去術 対応している 対応していない
 脳出血（くも膜下出血を含む）への対応 対応している 対応していない
 血栓除去術等の脳血管内手術 対応している 対応していない
 脳血管疾患等への早期リハビリの実施 対応している 対応していない
 奈良県脳卒中地域連携バスへの参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

④ 救急医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・救急告示病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・大腿骨骨折への対応 対応している 対応していない
- ・病院群輪審制への参加 参加している 参加していない
- ・小児科病院二次輪審体制への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑤ リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・脳卒中等循環器病への早期リハビリ 対応している 対応していない
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り（病床数＝ 床） 無し
- ・訪問リハビリの実施 対応している 対応していない
- ・通所リハビリの実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑥ 在宅医療

- ※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。
- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 - ・在宅療養支援病院の届出の有無 有り 無し
 - ・在宅療養後方支援病院の届出の有無 有り 無し
 - ・訪問リハビリの実施（再掲） 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑦ 訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 - ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ
- （はいの場合 施設名称： _____）

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑧ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？ 定めている 定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか? はい
- ・小児入院医療管理料の算定 している いいえ
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲） 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか? はい
- ・分娩の取扱いは 対応している 対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか? はい
- ・災害拠点病院の指定を受けているか? はい
- ・DMA T指定病院の指定を受けているか? はい
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している 参加していない いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか? はい
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか? はい

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか? はい いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか? はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか? はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか?（重点医療機関か?） はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか? はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか? はい いいえ
- ・平時から自病院内で感染防護具等の備蓄をしているか? はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか? はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか? はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

収束しつつありますが、感染防止に努め、柔軟に対応していきます。